

## 令和3年度全国学力・学習状況調査の甲府市における調査結果のポイント

甲府市教育委員会学校教育課

文部科学省は、本年5月27日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果を公表しました。

この調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や児童生徒の生活状況の実態等を明らかにすることにより、各学校における児童生徒への指導内容の充実や指導方法の改善、日々の生徒指導等に役立てることを目的としております。

各学校におきましては、自校の調査結果を分析し、課題等を明らかにした上で、指導方法の改善等に役立てながら授業を行っております。また、分析結果につきましては、学校便りなどを通して保護者や地域住民の皆様にお知らせするとともに、各学校のホームページにも掲載する予定です。

なお、各学校では、調査に参加した児童生徒並びにその保護者に対しまして、個別懇談等を通して、個人結果票をもとに、個々の課題や今後の努力点を丁寧に説明し、課題等を共有しながら学力向上に向けて家庭との連携を図るよう努めています。

甲府市教育委員会としましても、市内各小中学校の調査結果を分析、検討し、本市としての全体的な状況や課題等を次のとおりまとめ、今後、各小中学校への指導助言に役立てて参ります。



### 【お問い合わせ先】

〒400-8585

甲府市丸の内 1-18-1

甲府市教育委員会 学校教育課

電話 055-223-7321 FAX 055-235-5648

# 1 調査の本市の概要

(1) 実施日 令和3年5月27日(木)

(2) 調査内容

○実施学年 小学校第6学年, 中学校第3学年

○調査内容

[教科に関する調査] 小学校…国語, 算数 中学校…国語, 数学

◇出題内容

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や, 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等。

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や, 様々な問題解決のための構想を立て, 実践し評価・改善する力等に関わる内容。

調査問題では, 上記①と②を一体的に問う。出題形式は, 国語及び算数・数学においては, 記述式の問題を一定割合で導入する。

[生活習慣・学習環境等に関する質問紙調査]

◇児童生徒に対する調査

・学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面等に関する質問紙調査

◇学校に対する調査

・指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

(3) 参加状況

校種	参加学校数	参加学年・参加人数
小学校	24校	6年生・1329人
中学校	11校1分校	3年生・1259人

※小学校1校不実施

# 2 教科に関する調査の本市の結果について

(1) 全体の結果 【平均正答率で見た甲府市の状況 : 全国・山梨県との比較】

		小学校(6年生)		中学校(3年生)	
		国語	算数	国語	数学
全国		64.7	70.2	64.6	57.2
山梨県		63	68	66	57
甲府市	国との比較	△	△	○	○
	県との比較	○	○	○	○

※平成29年度から, 県および市・各学校等の平均正答率は整数で発表されることとなった

※表の見方: ○は同じかあるいは上回っている, △は下回っている

### ◇全体の概要

○平成31年度から従来のA問題・B問題が一体的に問われることになった。この形式での調査は今回で2回目になる。

教科に関する調査の平均正答率は、小学校・中学校ともすべての教科(国語・算数・数学)において、全国と比べて-2.2%から+1.4%の範囲内(一昨年度-2.8%から+1.2%)にある。  
※昨年度は中止

#### 〔小学校〕

・国語、算数とも、全国平均正答率を下回っているが、県平均正答率とは同程度、もしくは上回っている。

#### 〔中学校〕

・国語、数学ともに全国平均正答率及び県平均正答率より同程度、もしくは上回っている。

## (2)各教科の結果

### ■小学校国語

#### 【全国の平均正答率より3ポイント以上高いもの】

該当なし

#### 【全国の平均正答率より3ポイント以上低いもの】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	該当学年	過去問題
3三(1)ウ	丸山さんの【文章の下書き】の中の一部ウを、漢字を使って書き直す(つみ重ね)	学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う	5・6年言葉の特徴や使い方に関する事項	
3三(2)オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の一部オで～部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係を捉える	3・4年言葉の特徴や使い方に関する事項	R2 3 二(1) R2 3 二(2) 【不実施】

**【正答率が40%に満たないもの】**

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	該当学年	過去問題
2三	面ファスナーに関する【資料】を読み、メストラルは、何をヒントに、どのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける	5・6年 読むこと	H27B 2 三
2四	面ファスナーに関する【資料】を読み、面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する	3・4年 読むこと	H27B 2 一ア H27B 2 一イ
3三(2)オ	丸山さんの【文章の下書き】の中の 一 部オで～～部「すぐに」がくわしくしている言葉として適切なものを選択する	文の中における修飾と被修飾との関係を捉える	3・4年 言葉の特徴や使い方に関する事項	R2 3 二(1) R2 3 二(2) <b>【不実施】</b>

**【本市の傾向・課題】**

- 全国及び県の平均正答率とほぼ同等の結果となった。
- 記述式の設問や、短答式の言葉の使い方に関する設問において、全国及び県と同様に無解答率が高い傾向が見られた。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」(知識及び技能)に関する設問の正答率が低い。
  - ・「文の中で漢字を使う」設問については、3問中2問(「転がる」・「原因」)は全国平均正答率を上回り、前回に比べ改善が見られるが、表に示した設問(「積み」)については全国・県平均を下回り、正答率が低く、課題が残る。
  - ・文の中における主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係を捉えることに課題がある。特に表に示した設問(「すぐに」が修飾する言葉)については全国・県平均を下回り、正答率が低い。
- 「読むこと」(思考力、判断力、表現力等)に関する設問の正答率が低い。
  - ・目的に応じて、文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けることに課題がある。
  - ・目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することに課題がある。

## 【改善のための方策】

### ○文や文章の中で、漢字を正しく使う指導の充実

- ・漢字の学習指導に当たっては、日常生活の中で適切に使うことができるようにすることが重要である。そのためには、読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、本設問のように、自分の書いた文章を読み返す中で、正しい使い方を習得できるようにする指導の工夫が必要である。また、必要に応じて、日常生活と結びつけながら、漢字を使って文や文章を書く機会を設定することが大切である。

### ○文の中における主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係を捉える指導の充実

- ・主語と述語との関係や修飾と被修飾との関係に気を付けて文を整えることが、自分の思いや考えを正確に伝える上で重要であることを、授業だけでなく日常生活と結びつけながら気付くことができるように指導する。特に、[思考力、判断力、表現力等]の「B書くこと」の「推敲」に関する指導事項などとの関連を図り、指導の効果を高めていくことが考えられる。自分が書いた文章を読み返す際に、読み手の立場に立って、言葉の使い方を確認する習慣を身に付けるようにしていくことが重要である。

### ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付ける指導の充実

- ・図表やグラフなどを含む文章（説明文）を読む際には、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結び付くのかを明らかにし、文章と図表などとの関係を捉えて読むことが重要である。その上で、文章構成を表にまとめるなどの活動を通して、必要な情報を結び付けて内容を理解することができるようにしていくことが重要である。

### ○目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する指導の充実

- ・「要約する」とは、文章全体の内容を正確に把握した上で、段落の要点と要点をつないで元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章の内容を短くまとめることである。要点とは、段落の中で筆者が述べようとしている主要な内容のことである。要約する目的を意識し、各段落を構成するそれぞれの文の役割を捉え、その中から内容の中心となる語や文を選び要点をまとめ、それをつないで要約することができるようにすることが重要である。その際、要約の分量なども考えて指導することが大切である。

## ■小学校算数

### 【全国平均正答率より3ポイント以上高いもの】

該当なし

### 【全国平均正答率より3ポイント以上低いもの】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	該当学年	過去問題
1(3)	アとイの二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	速さを求める除法の式と商の意味について理解している	5年 変化と関係	H25A <sup>4</sup> H25B <sup>4</sup> (1) H26A <sup>4</sup> (2) H28A <sup>4</sup> H30A <sup>4</sup> (2) H31 <sup>4</sup> (3)
2(1)	直角三角形の面積を求める式と答えを書く	三角形の面積の求め方について理解している	5年 図形	H19A <sup>5</sup> (2) H21A <sup>6</sup> H24A <sup>5</sup> (2) H28A <sup>5</sup>
3(4)	帯グラフから、割合の違いが、一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる	5年 データの活用	H19B <sup>3</sup> (3) H22B <sup>3</sup> (1) H30B <sup>3</sup> (2)
4(3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	商が1より小さくなる等分除(整数)÷(整数)の場面で、場面から数量の関係を捉えて除法の式に表し、計算をすることができる	4年 数と計算	H20A <sup>1</sup> (6) H20A <sup>4</sup> (2) H22A <sup>1</sup> (5) H22A <sup>2</sup> (1) H25A <sup>1</sup> (4) H26A <sup>1</sup> (4) H29A <sup>2</sup> (4)

### 【正答率が40%に満たないもの】

該当なし

### 【本市の傾向・課題】

- 全国及び県の平均正答率とほぼ同等の結果となった。また、全国及び県と同様に、無解答率が高い設問もある。
- 「変化と関係」の領域では、「速さなど単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めること」に課題がある。「速さを求める除法の式と商の意味を理解すること」に関する問題での正答率が低い。
- 「図形」の領域では、「三角形の面積の計算による求め方について理解すること」に

課題がある。「三角形の底辺と高さを正しく捉え、面積の求め方について理解していること」に関する問題での正答率が低い。

- 「データの活用」の領域では、「帯グラフの特徴とそれらの用い方を理解すること」に課題がある。「帯グラフの複数のデータから項目間の違いに着目し、データの特徴や傾向を読み取ること」に関する問題での正答率が低い。
- 「数と計算」の領域では、「ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ること」に課題がある。「小数を用いた倍の意味について、数の表し方の仕組みに着目して理解し、考え表現すること」に関する問題での正答率が低い。

### 【 改善のための方策 】

#### ○「変化と関係」に関する学習指導の充実

- ・日常生活の問題を解決するために、具体的な場面に対応させながら、事柄や関係を式に表すことができるよう指導していく。
- ・どちらが速いか比べる際には、単位量について道のり又は時間で比べることを指導していく。その場合、図を用いるなどして、「1分間当たりに進む道のりや1m 当たりにかかる時間」などについて考えていくことが大切である。

#### ○「図形」に関する学習指導の充実

- ・公式を暗記させることが目的ではなく、なぜその公式が成り立つのか考える時間を充実させていく。
- ・図形の面積を求める学習では、図形のどこの長さに着目する必要があるのか、日々の学習の中で、意識して取り組むことが大切である。

#### ○「データの活用」に関する学習指導の充実

- ・日々の学習から、このグラフは何を表したもののなのか、児童が考える機会をもつことが大切である。
- ・データの特徴や傾向を読み取る力を育成するため、グラフの数値を漠然と捉えるのではなく、数値に基づいて判断する統計的な問題解決の方法を知る場面を作る。さらに、その方法で考察していくことができるようにすることが大切である。

#### ○「数と計算」に関する学習指導の充実

- ・数量の関係を正しく捉え、立式したり、計算結果を基に問題場면을振り返ったりすることができるようにする。
- ・商が1より大きい場合だけでなく、商が1より小さい場合の除法についても、商の意味を考えることができるようにすることが大切である。
- ・計算結果について、日常生活の場面に即して判断できるようにすることが大切である。

## ■中学校国語

### 【全国の平均正答率より3ポイント以上高いもの】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	該当学年	過去問題
1三	参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く	話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える	1年 話すこと・聞くこと	
2二	意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く	書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える	2年 書くこと	
4三	「行く」を適切な敬語に書き直し、その敬語の種類として適切なものを選択する	相手や場に応じて敬語を適切に使う	2年 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	

### 【全国の平均正答率より3ポイント以上低いもの】

該当なし

### 【正答率が40%に満たないもの】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	該当学年	過去問題
2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く	2年 書くこと	
3四	「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ	1年 読むこと	

### 【本市の傾向・課題】

- 本市の平均正答率は、多くの設問において全国平均を上回り、特に「話すこと・聞くこと」の領域では優れた成果を残している。
- 課題としては、文章を読み、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することはできているが、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つことである。



### 【改善のための方策】

#### ○読み手の立場に立って文章を整える

- ・目的や意図に応じて、読みやすく、しかも分かりやすい文章にするためには、読み手の立場に立って文章を整える必要がある。その際、表記や語句の用法、表現の仕方や効果などを確かめるように指導することが大切である。

#### ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにする

- ・文学的な文章を読んで自分の考えを持つためには、「文章の構造と内容の把握」や「精査と解釈」の学習過程を通して、理解したことを他者（友達や教師）に説明したり、他者の考えやその根拠を知ったりするように指導する必要がある。その上で、改めて自分がその文章をどのように捉えて解釈したのかを振り返ることで、自分の考えをより確かなものにするように指導することが大切である。

#### ○事象や行為などを表す多様な語句について理解する

- ・事象や行為などを表す多様な語句については、生活の中の様々な場面や状況に応じて、適切に使うことができるように指導することが大切である。その際、辞書を活用して似た意味を持つ語句を調べたり、複数の語句を比べてどれが最もふさわしい表現かを検討したりすることも効果的である。

## ■中学校数学

### 【全国の平均正答率より3ポイント以上高いもの】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	該当学年	過去問題
4	経過した時間と陰の長さの関係を「…は…の関数である」という形で表現する	関数の意味を理解している	1年 関数	H26A9 H29A9
9(1)	四角形ABCEが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する	平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になるための理由を説明することができる	2年 図形	

### 【全国の平均正答率より3ポイント以上低いもの】

該当なし

【正答率が40%に満たないもの】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	該当学年	過去問題
6(3)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる	2年 数と式	
7(2)	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	1年 関数	H25B <sup>3</sup> (2) H29B <sup>3</sup> (2)
8(2)	2つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いることの前提となっている考えを選ぶ	相対度数の必要性和意味を理解している	1年 資料の活用	
8(3)	「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	1年 資料の活用	H29B <sup>5</sup> (3)
9(3)	$\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる	2年 図形	

【本市の傾向・課題】

- 全国平均正答率とほぼ同等の結果となっている。「関数の意味を理解している」や「平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明することができる」などでは、全国の正答率を上回っている。
- 多くの設問で無解答率が全国より低く、粘り強く取り組む姿勢が見受けられる。しかし、「資料と活用」の領域において正答率が40%を下回っていることが課題である。

## 【 改善のための方策 】

### ○基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図る指導の充実

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るため、学習した内容の意味の理解や実生活との関連を大切にしながら、生徒の実態に即したきめ細かな指導を繰り返し行う。

### ○関数・資料の活用の充実

- ・与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ることができている。日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することには引き続き課題がある。日常生活における問題を数学を活用して解決できるようにするために、問題解決の方法に焦点を当て、表、式、グラフの中から用いるものを明確にするとともに、その用い方を適切に表して問題解決の方法を説明する活動を充実することが大切である。
- ・与えられたデータから中央値を求めることはできており、改善の傾向は見られる。2つの分布の傾向を比べる際の相対度数の必要性和意味の理解に課題がある。相対度数の必要性や意味を理解するために、大きさの異なる2つ以上の集団のデータについて、その傾向を比較する活動を充実することが大切である。

### (3) 無解答率について

校種ごと、教科ごとに無解答率をまとめると次の通りである。

#### <無解答率が全国よりも高い設問の数>

※全国よりも無解答率が高い設問の数／全設問数

全国より無回答率が高かった設問数				
小学校	H31 年度	国語	算数	
		11問／14問中	2問／14問中	
	R3 年度	国語	算数	
		8問／14問中	2問／16問中	
中学校	H31 年度	国語	数学	英語
		2問／10問中	1問／16問中	2問／21問中
	R3 年度	国語	数学	
		3問／14問中	2問／16問中	

#### 【本市の傾向と課題】

○一昨年度との比較の視点から（昨年度は不実施）

- ・前回、小学校国語で無解答率が全国平均より高かった設問数は78%と多かったが、今回は57%であった。前回に比べて粘り強く解答した様子が見える。
- ・算数、数学は前回に引き続き、最後まで粘り強く解答した様子が見える。

○全国との比較の視点から

- ・他教科に比べて、小学校国語で無解答率が全国平均より高い設問が多いが、ほとんどが1.0ポイント未満での差であった。小学校では最大で1.6ポイント、無解答率が全国平均より高かった。
- ・中学校は、ほとんどの設問で無解答率が全国平均より低い。全国との差は、中学校で最大1.6ポイント無解答率が高かった。粘り強く解答した様子が見える。

○無解答率が特に高かった設問から

- ・小学校では、国語において無解答率が10%を超えている設問が1問あり、短答式の設問であった。算数については無解答率が10%を超えている設問はなかった。
- ・中学校では、国語において無解答率が10%を超えている設問が1問、数学で6問であった。7問中5問が記述式。残りの2問が短答式の設問であった。

#### 【改善のための方策】

- ・中学校の数学で無解答率が高い設問が多かったが、どの教科も記述式が目立つ。「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の視点に立ち、「自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導」「考えを引き出したり思考を深めたりする指導」「適切にノートをとるなど、学習方法に関する指導」をすすめることが無解答率を下げることに有効である。また、甲府市で力を入れている「甲府スタイルの授業づくり」の「見通しと振り返り」「ノート指導と板書」「動き出したくなる課題設定」においても、なお一層の工夫と充実を図る必要がある。

平成31年度 各種調査「結果と授業改善のポイント」資料より（山梨県教育庁義務教育課）  
令和3年度 各種調査「授業改善のPoint' 21」資料より（山梨県総合教育センター）

## 調査結果を踏まえた授業改善の取組

※まずは、先生方が調査問題を解きましょう。問題を解いた後には・・・。

- ①分類の各項目について結果を見ます。
- ②正答数分布グラフの分布の形状から、児童生徒の解答状況を把握します。

### (1) 課題のある設問に着目する

- ③全国平均や県平均との差が大きい設問（5ポイント以上差が開いているもの）、正答率の低い設問、無解答率の高い設問に着目します。

### (2) 反応率の高い誤答に着目する

- ④解答類型の反応率から誤答の状況（児童生徒はどこでつまづいているのか）をつかみます。

類型2が25.1%で誤答の反応率が高い

#### 算数

1段目：山梨県（公立）の割合 2段目：全国（公立）の割合

問題番号	問題の概要	解答									無解答
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	
1 (3)	アとイの二つの速さを求める式の意味について、正しいものを選ぶ	51.6	25.1	8.1	9.9					3.5	1.9
		55.8	22.9	6.9	9.5					3.5	1.4

#### 「解答類型」

一人一人の児童生徒の具体的な解答状況を把握することができるよう、設定する条件などに即して解答を分類、整理するためのもの。

#### 「解答類型ごとの反応率」

各設問の解答類型別の反応率を見ることで、誤答に目を向け授業改善の視点を探ることができる。

正誤だけではなく、一人一人の誤答の状況や誤答の割合が高い類型に注目することで、児童生徒がどんなことにつまづいているのかが見える。さらに、課題の質を吟味することにより、学習指導の改善・充実を図ることができる。

### (3) 誤答から児童生徒の実態をつかむ

- ⑤誤答の原因（どこに課題があるのか）を考えます。

### (4) 児童生徒の実態を踏まえて授業をつくる

- ⑥対象学年だけでなく、それぞれの学年で取り組むべきことを明らかにします。
- ⑦「授業改善のPoint' 21」や「授業をつくる」（山梨県総合教育センターよりダウンロード可）、「国の調査資料」（解説資料、報告書、授業アイディア例等）を参考にして指導改善・充実を図りましょう。

### 3 質問紙調査の本市の結果について

#### (1) 児童生徒質問紙調査の特徴

##### ① 小学校【児童質問紙調査】

##### ■ 【全国の平均より3ポイント以上高いもの】

No.	質問項目	全国との差
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	4.2
6	自分には、よいところがあると思いますか	3.1
7	将来の夢や目標を持っていますか	4.3
8	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	5.2
9	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	4.9
10	人が困っているときは、進んで助けていますか	3.2
13	学校に行くのは楽しいと思いますか	4.4
15	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	6.4
17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）	3.4
24	今住んでいる地域の行事に参加していますか	5.0
25	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	6.8
31	5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	3.5
32	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	5.0
33	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	3.5
35	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	4.5
37	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	3.7
38	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	4.8
39	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	5.1
40	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	7.4
41	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	6.1
43	国語の勉強は好きですか	5.5
45	国語の授業の内容はよくわかりますか	5.1
47	国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	4.5
48	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか	4.8
49	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	5.9

50	国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか	5.8
56	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	6.5
58	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	3.3
61	英語の勉強は好きですか	7.6
62	5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	7.5
64	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	6.2
65	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか	5.8
66	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	6.5

### ■【全国の平均より3ポイント以上低いもの】

No.	質問項目	全国との差
19	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む） ※2時間以上で比較	-4.4
26	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	-10.9
27	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか	-18.7
68	解答時間は十分でしたか（国語）	-7.4
69	解答時間は十分でしたか（算数）	-5.1

## ②中学校【生徒質問紙調査】

### ■【全国の平均より3ポイント以上高いもの】

No.	質問項目	全国との差
4	携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	3.0
6	自分には、よいところがあると思いますか	4.8
7	将来の夢や目標を持っていますか	5.8
8	自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか	3.2
9	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	4.2
15	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	6.6
25	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	5.1
31	1，2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え（自分と同じところや違うところ）を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか	5.2
32	1，2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	4.1
35	1，2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	5.3
37	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	3.2

40	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	13.0
41	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	8.2
42	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	7.2
43	国語の勉強は好きですか	3.4
45	国語の授業の内容はよく分かりますか	3.7
47	国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか	4.2
49	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか	5.0
50	国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか	3.3
58	数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	3.9
59	数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	7.0
62	1, 2年生のときに受けた英語の授業では、英語で話したり書いたりして、自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	3.5
64	新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	3.9

### ■【全国の平均より3ポイント以上低いもの】

No.	質問項目	全国との差
5	普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか ※3時間以上で比較	-3.0
20	学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか（インターネットを通じて教わっている場合も含む）	-3.6
26	1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	-17.4
27	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか	-26.2
52	数学の勉強は好きですか	-3.3
68	解答時間は十分でしたか（国語）	-5.0
69	解答時間は十分でしたか（数学）	-5.5

### ③児童生徒質問紙調査について

質問紙調査の設問数が今年度は小学校、中学校ともに69だった。（一昨年度は小学校59、中学校は69）コロナ禍に関する質問も新たに付け加わっている。全国平均と比べて3ポイント以上、上回る設問が、小学校では33、中学校で23あった。反対に3ポイント以上下回る設問が、小学校では5、中学校で7あった。小学校、中学校ともに8割以上の設問で、肯定的な回答が全国平均を上回っている。

#### <小学校>

- 「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」について、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。「社会に開かれた教育課程」のもと、地域と学校で児童の育成に関わっている様子が分かる。
- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか」「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自



分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか」について、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。学級の問題を解決する方法や目標を、学級の話し合いから作り出し、互いを認め合いながら学級をよりよくしていこうとする様子が見えてくる。

- 「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか」「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」について、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。6年生になるまでに、課題で必要な情報を集め、それらを活用しながら、相手に分かりやすく発表する経験を積んできていることがうかがえる。
- 「5年生までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか」「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」について肯定的な回答が全国平均を上回っている。学びにおいては、対話的な活動を取り入れながら深い学びへとつなげている様子が見えてくる。また、「5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」も肯定的な回答が全国平均を上回っており、「主体的・対話的で深い学び」の視点にたった授業改善が児童にも浸透していることがうかがえる。
- 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「学習した内容について、分かった点や、よく分からない点を見直し、次の学習につなげることができていますか」について肯定的な回答が全国平均を上回っており、甲府市で推奨している「見直しと振り返り」が各校においても浸透していることが分かる。
- 教科の中では「英語の勉強は好きですか」が他教科に比べても肯定的な回答が大きく全国平均を上回っている。昨年度より高学年において教科化された外国語が楽しく学んでいる様子が見えてくる。中学に向けてのスムーズな連結にも期待がもてる。
- 今年度は、コロナに関する質問も加わった。「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか」「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか」「新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか」について、全国平均を大きく上回っており、不安を抱えつつも、規則正しい生活を意識し、計画的に学習に取り組んでいた様子が見えてくる。
- 「あなたは学校で、コンピュータなどの ICT 機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」について、肯定的な回答が全国平均を大きく下回っている。また、「5年生までに受けた授業で、コンピュータなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか」も肯定的な回答が全国平均を大きく下回った。今年度より GIGA スクール構想に伴い、一人一台端末が配備されたため、今後は改善されていくと思われる。

#### <中学校>

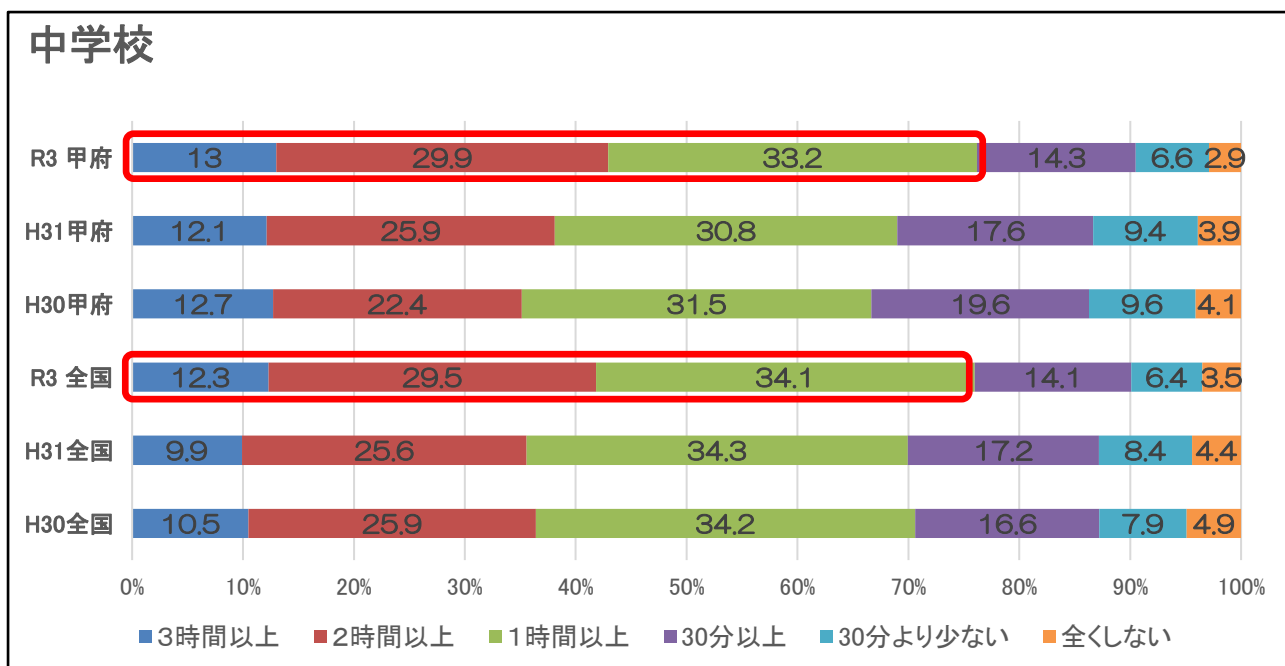
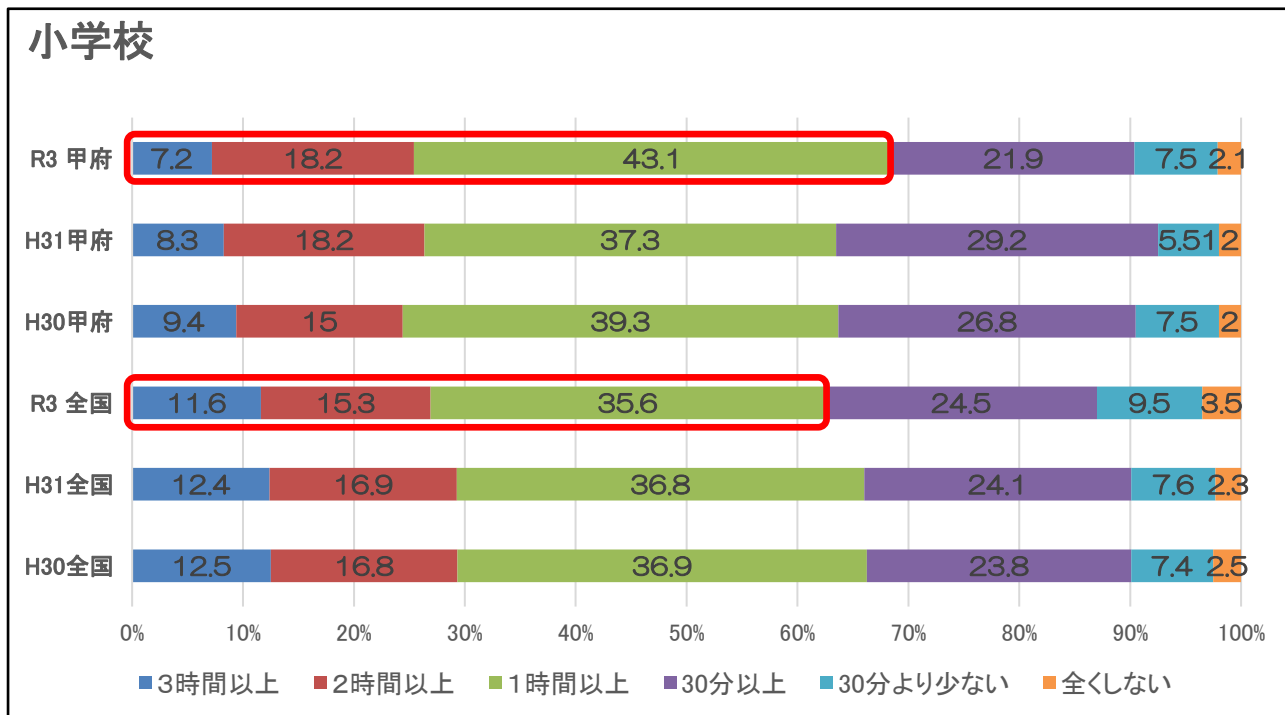
- 「自分には、よいところがあると思いますか」「将来の夢や目標を持っていますか」「難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか」については、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っており、コロナ禍において不安が多い状況ではあるが、前を向いて学習等にしっかりと取り組み、将来についても真剣に考えている様子が見えてくる。
- 「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生か

して解決方法を決めていると思いますか」「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか」について、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。中学生になり、自主的に学級の問題を解決する方法や目標を、話し合いから作り出し、互いを認め合いながら学級生活を送っている様子がうかがえる。

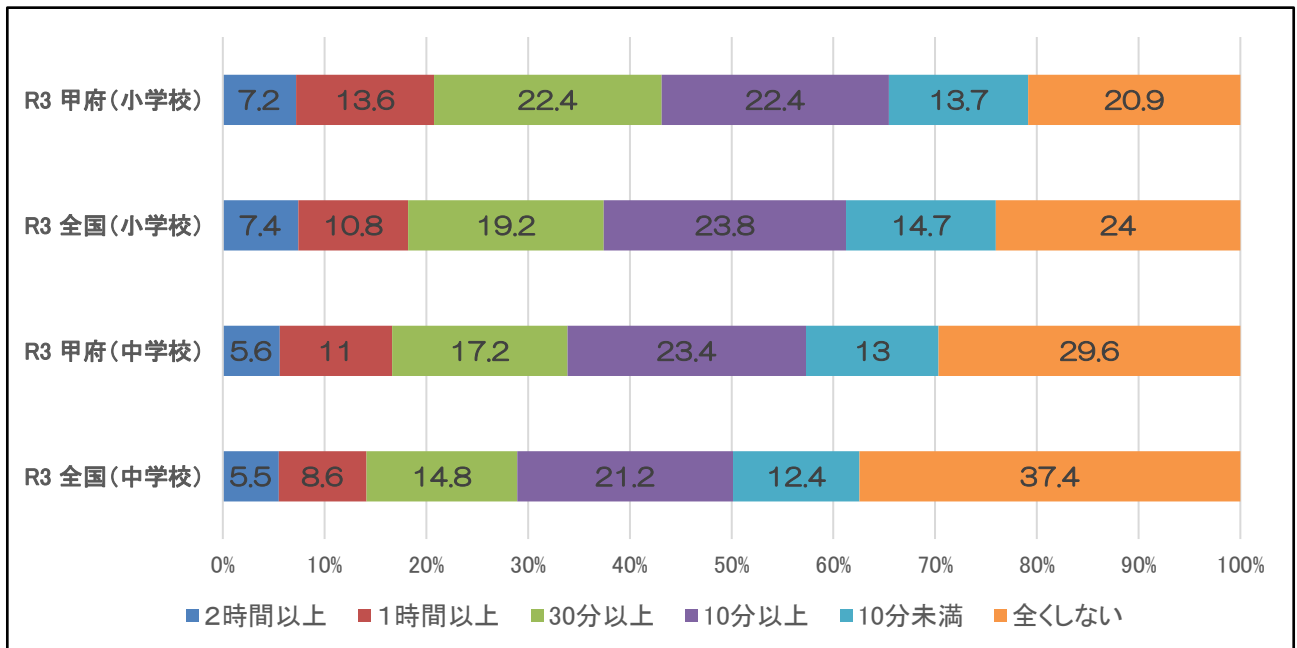
- 「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「1，2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていますか」について肯定的な回答が全国平均を大きく上回っている。授業において、友達との話し合いを楽しみながら、自分の考えを深めていることがうかがえる。また、「1，2年生の時に受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか」も肯定的な回答が全国平均を上回っており、対話的な学習形態に慣れ親しんでいることが分かる。
- 「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか」「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」について、肯定的な回答が全国平均を大きく上回っていた。甲府市で昨年度より推奨している「ノート指導と板書は表裏一体」が、各中学校においても取り組まれている成果と考えられる。
- 教科で見ると、一昨年に引き続き「国語」に関する質問で、肯定的な回答が全国平均を上回るものが多かった。
- 「あなたは学校で、コンピュータなどの ICT 機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか」について、小学校同様に肯定的な回答が全国平均を大きく下回っている。また、「1，2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか」も全国平均を大きく下回った。中学校においても、今年度より GIGA スクール構想に伴い、一人一台端末が配備されたため、今後は改善されていくと思われる。

☆児童質問紙のうち、家庭学習に関わる資料（無回答等は除く）

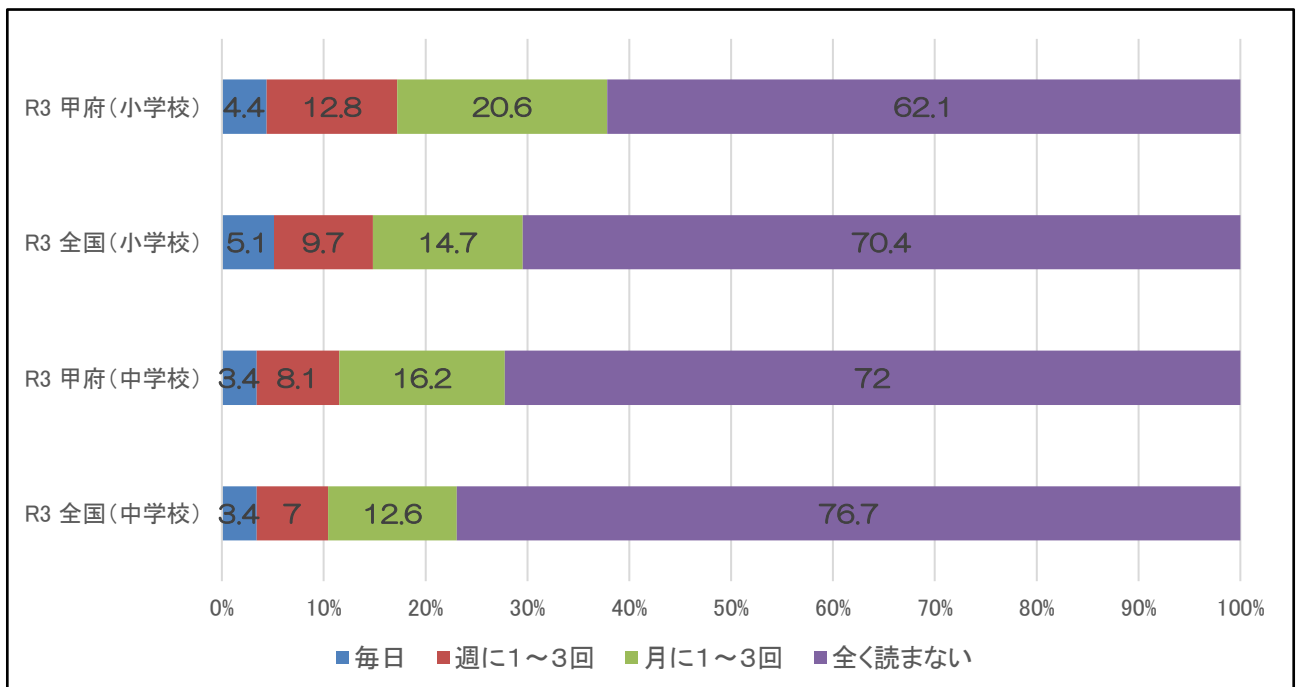
学校の授業以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。  
（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間等を含む）



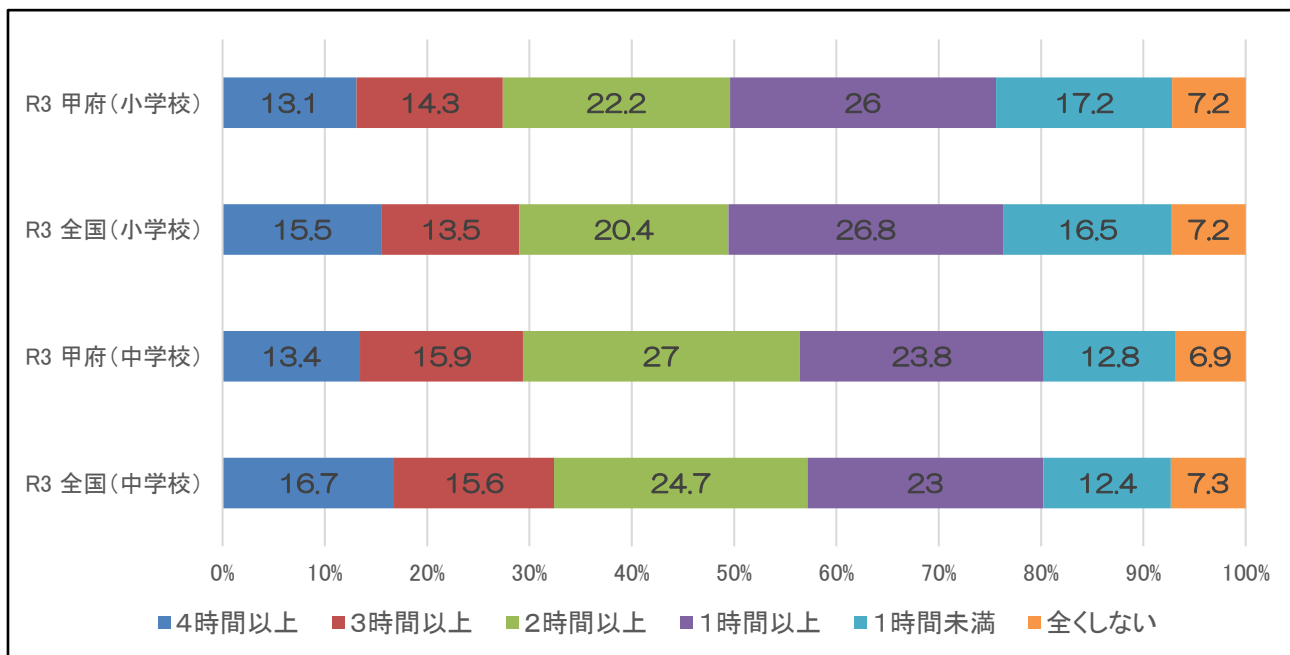
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。



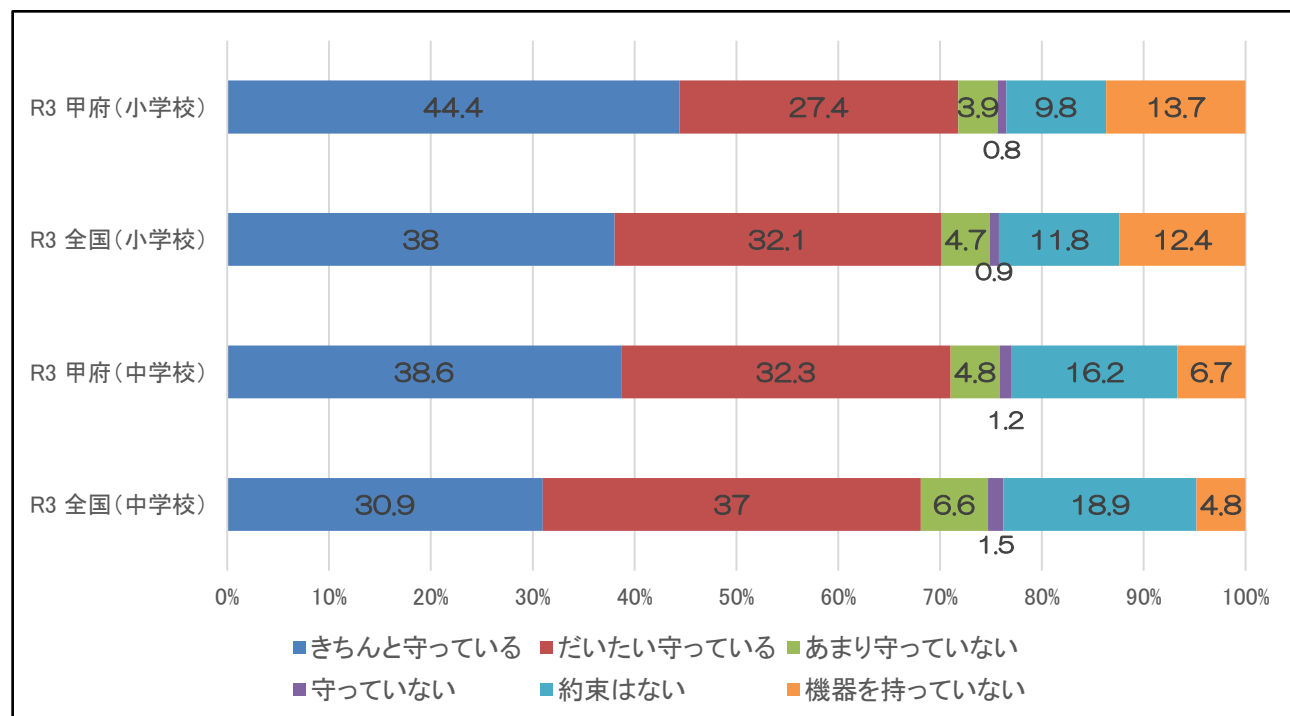
新聞を読んでいますか。



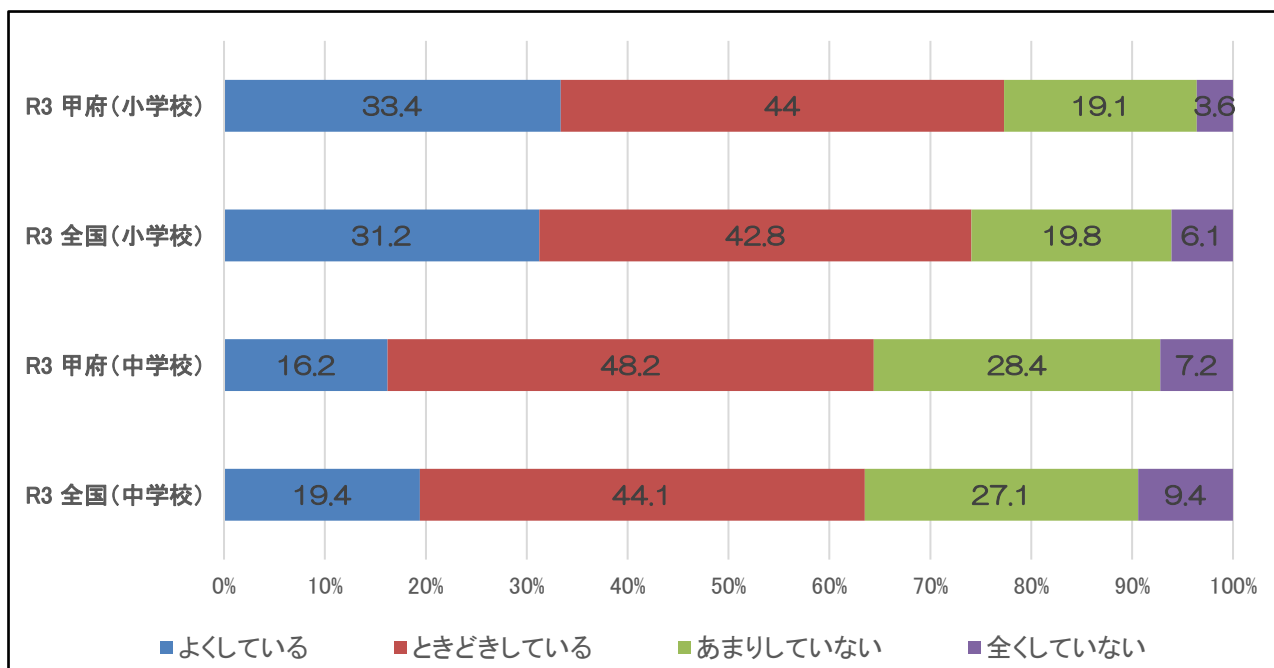
普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（PC、携帯式、スマホ含む）をしますか。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか



## 家で、計画を立てて勉強していますか。



### 【改善のための方策】

新学習指導要領第1章第1の2の(1)の中にも「家庭との連携を図りながら、児童(生徒)の学習習慣が確立するように配慮すること」とある。家庭学習は、「学んだことを定着させる」という重要な役割があり、確かな学力の向上には欠かせないものである。

○「家庭学習」のあり方について全職員で共通理解を図る

- ① 学校としての家庭学習の方針や目的
- ② 児童生徒の家庭学習の実態と目標
- ③ 課題の内容と量
  - ・授業と関わる課題で児童生徒が取り組める内容
  - ・課題が明確で取り組むねらいが把握できる(予習・復習・自主課題など)
  - ・児童生徒が意欲的に取り組める分量

(統一、徹底していくというチームとしての取組が必要。一方で、その児童生徒に合った量や質を考慮していくことも必要)

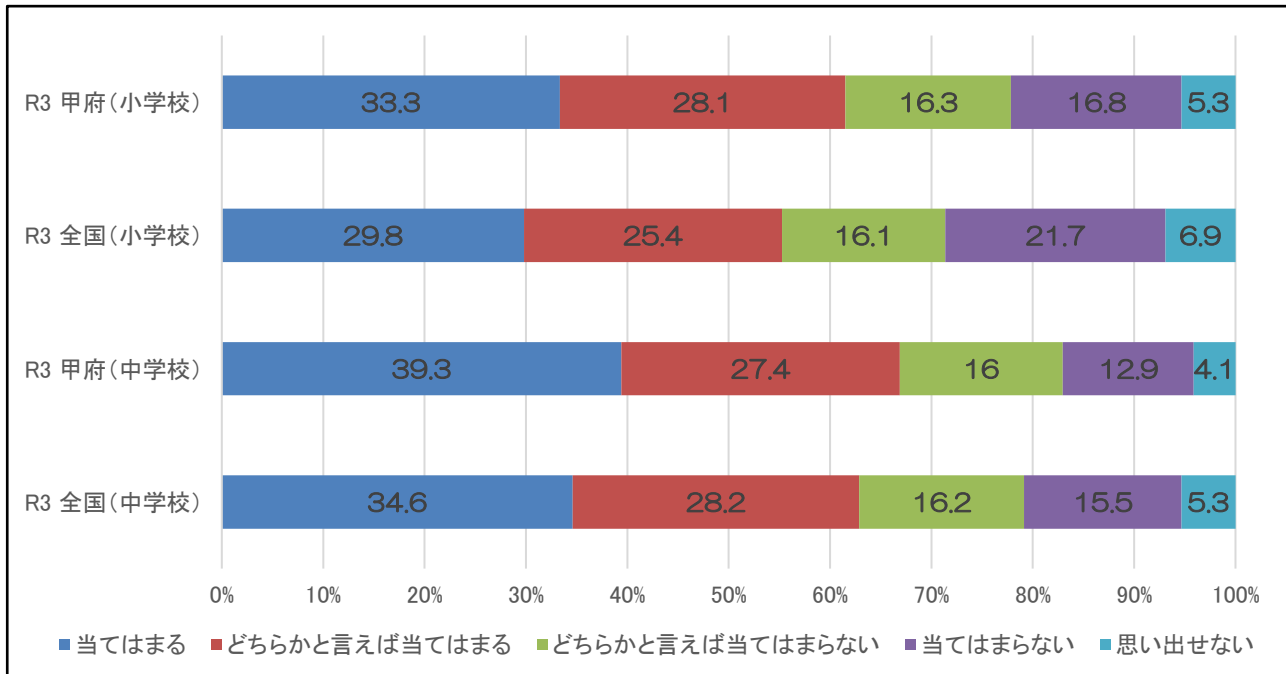
- ④ 家庭学習の意欲の維持のさせ方
  - ・家庭学習の課題についての適切な評価と指導(やらせっぱなしにしない)
  - ・努力を認める声かけや励まし
- ⑤ 児童生徒への家庭学習の指導

○家庭への協力を依頼する

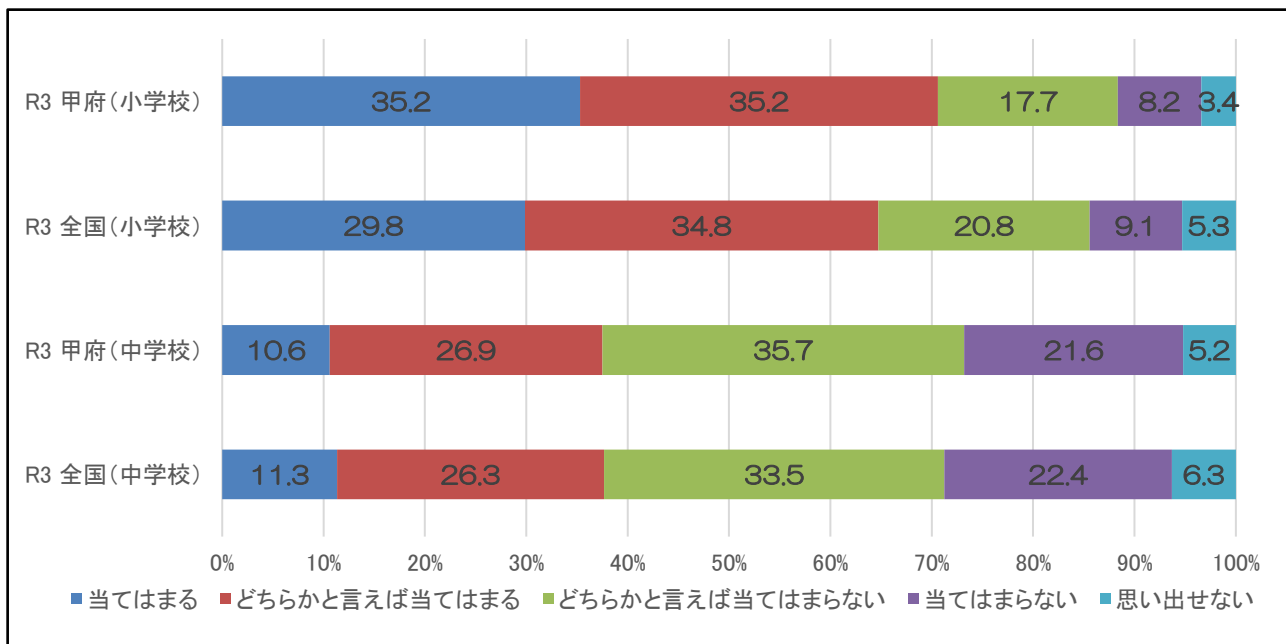
- ① 家庭学習の具体的内容・方法について「家庭学習の手引き」等で具体的に示す。
- ② 学校が家庭学習について説明したり保護者から家庭学習に関する相談を受けたりする場を設定する。
- ③ 発達の段階に応じて、「家庭学習カード」等で保護者にも家庭学習の点検と励ましをお願いする。
- ④ テレビやビデオ・DVDの視聴時間、ゲーム、携帯電話・スマートフォンの使用時間などについてルール作りを行うことを促す。

☆児童質問紙のうち、コロナ禍に関わる資料（無回答等は除く）

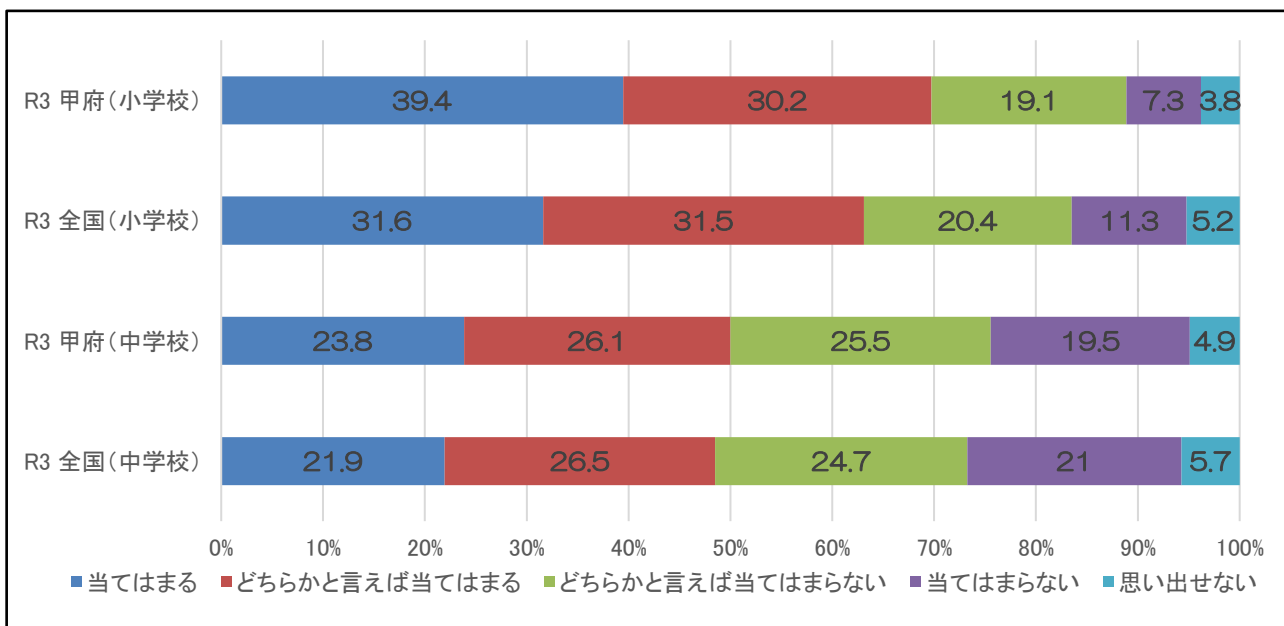
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じていましたか。



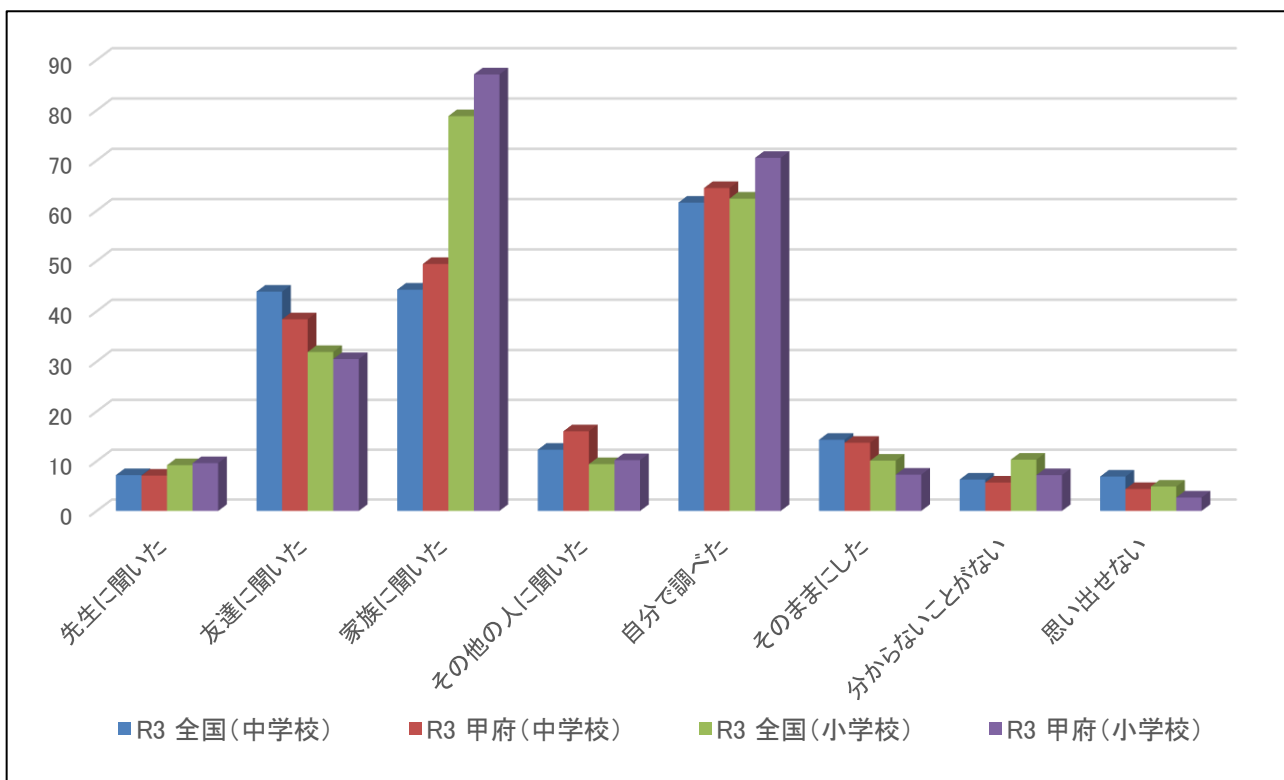
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、計画的に学習を続けることができましたか。



新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか。



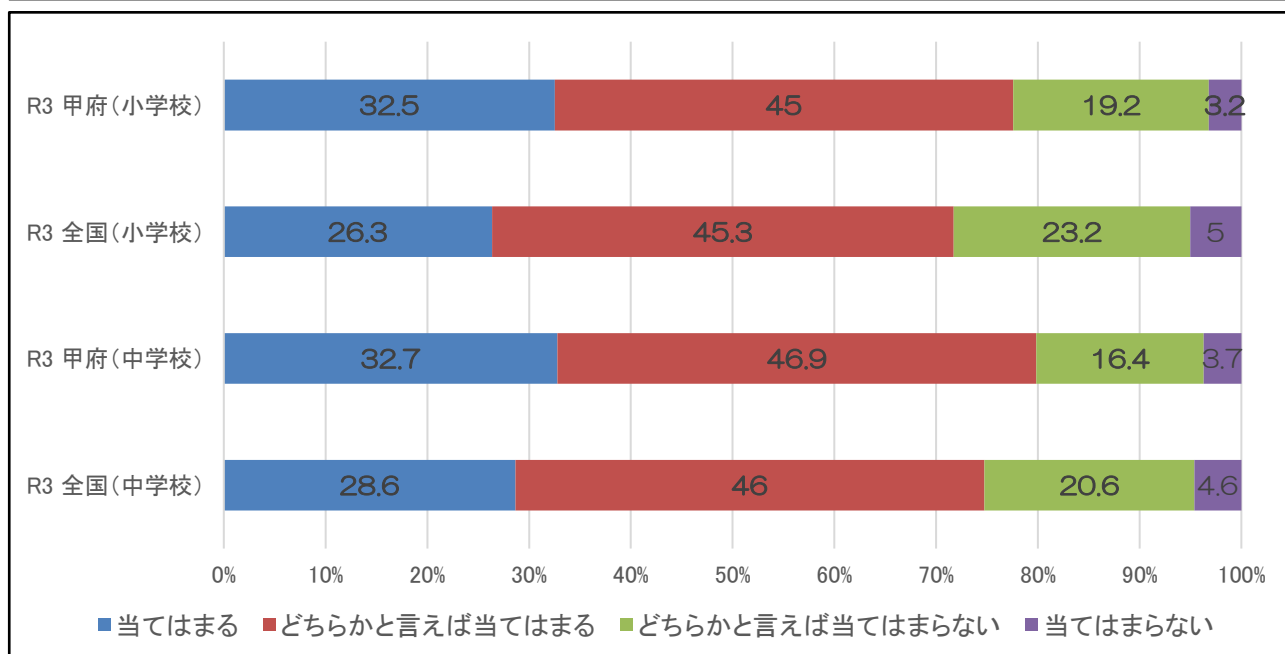
新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていましたか。(複数回答)



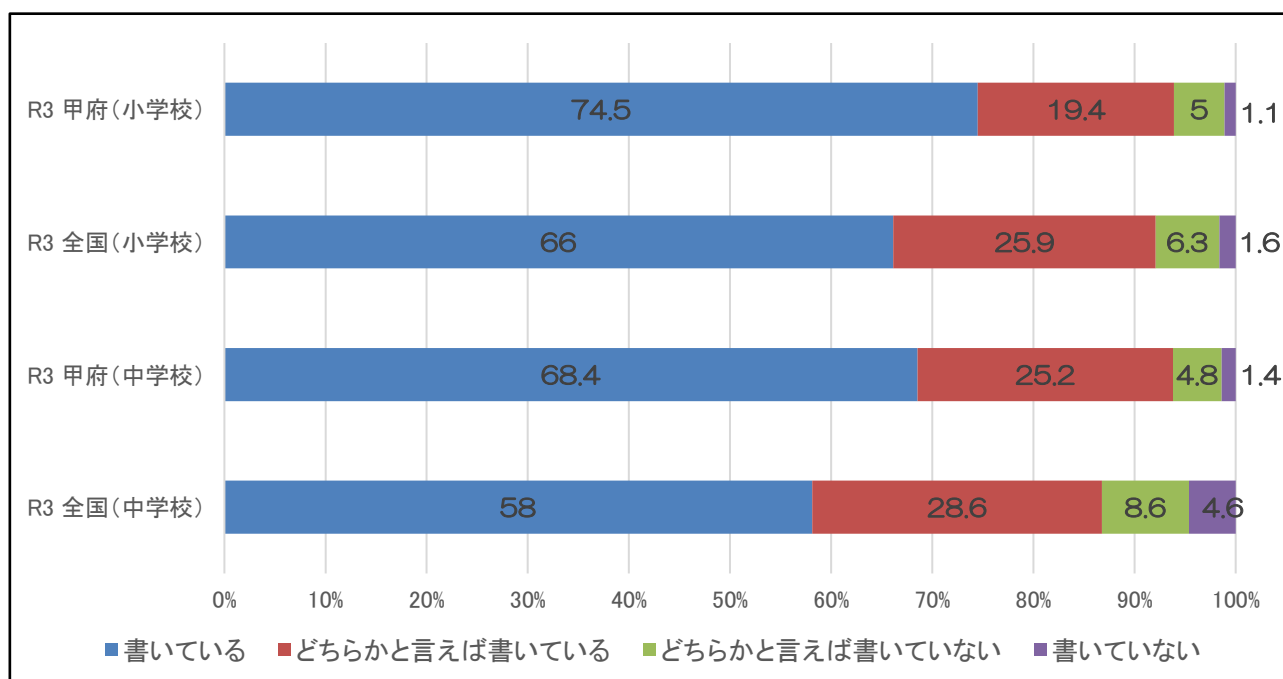


☆児童質問紙のうち、授業に関わる資料（無回答等は除く）

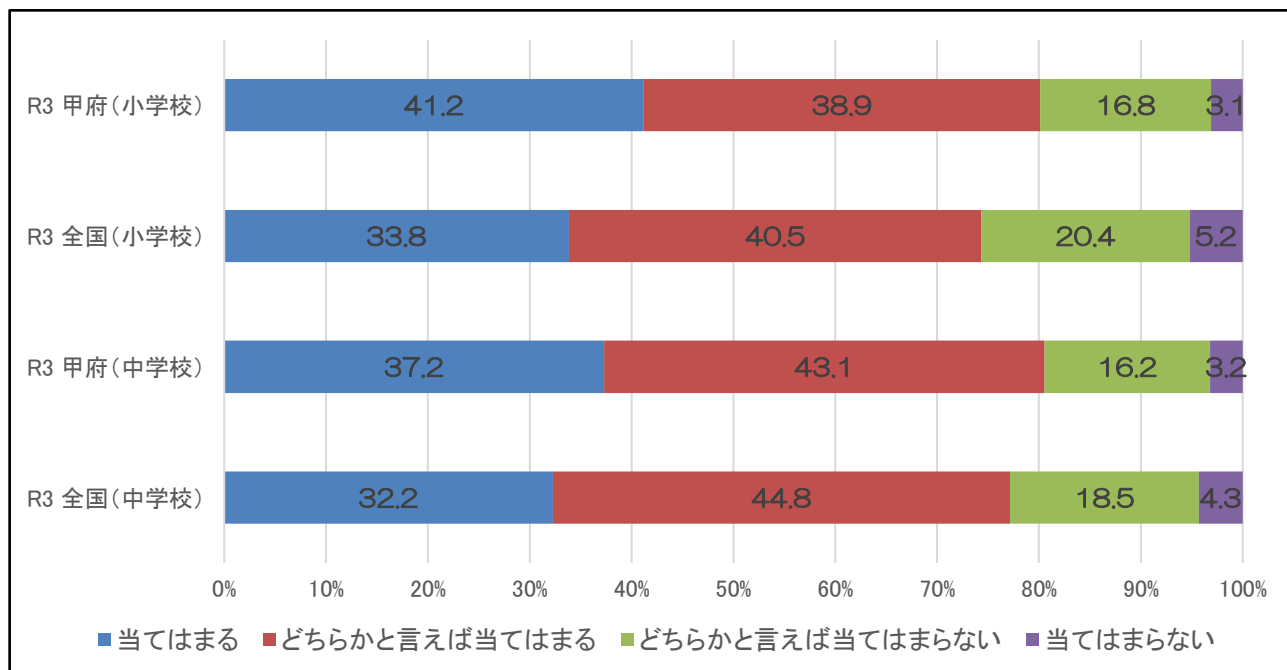
国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか



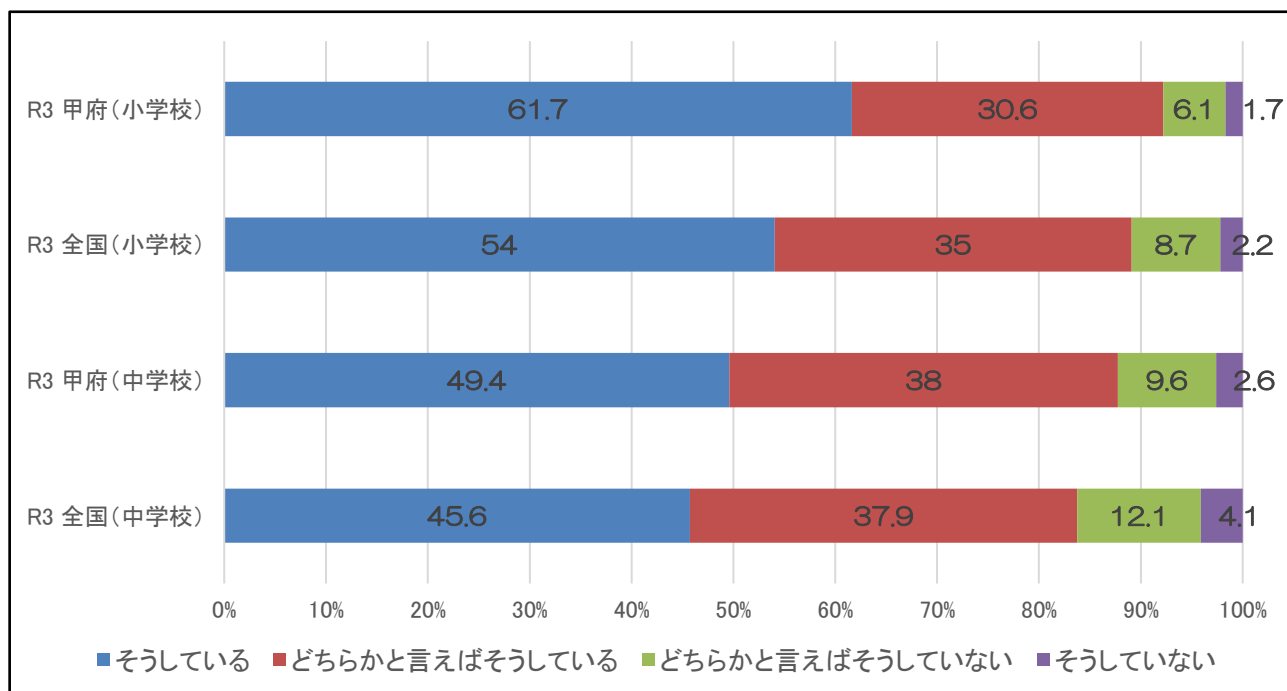
算数（数学）の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



国語の授業では、目的に応じて、文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたりしていますか（内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか）

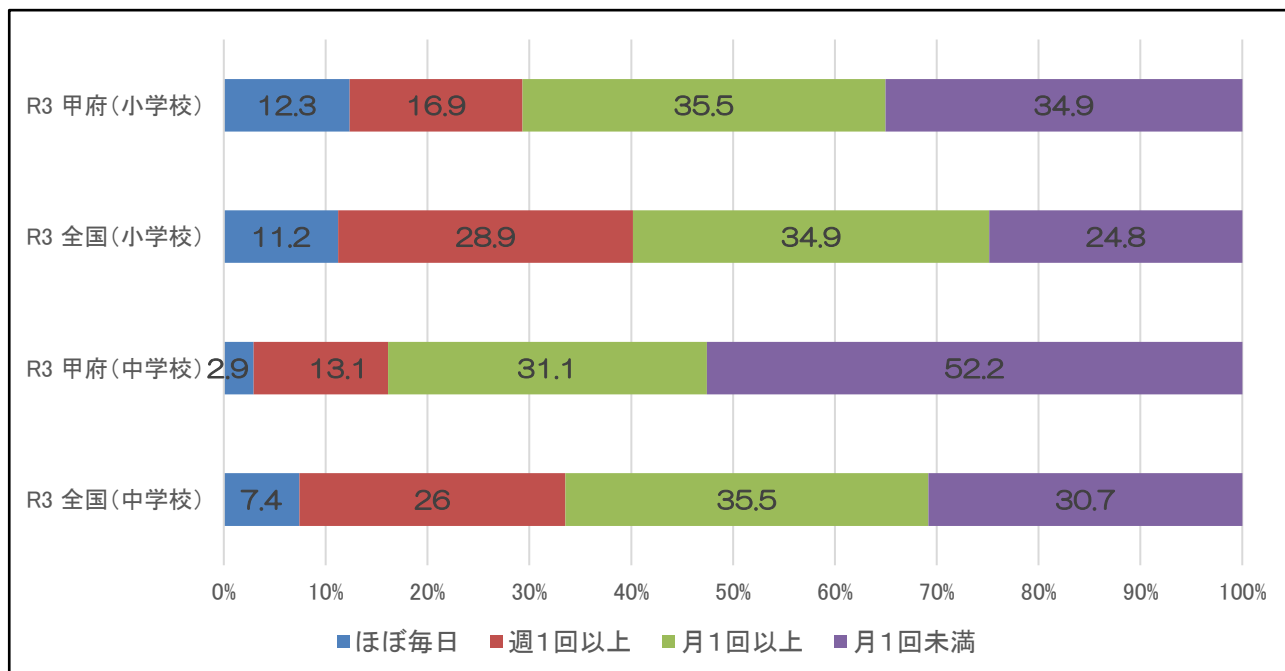


算数（数学）の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか

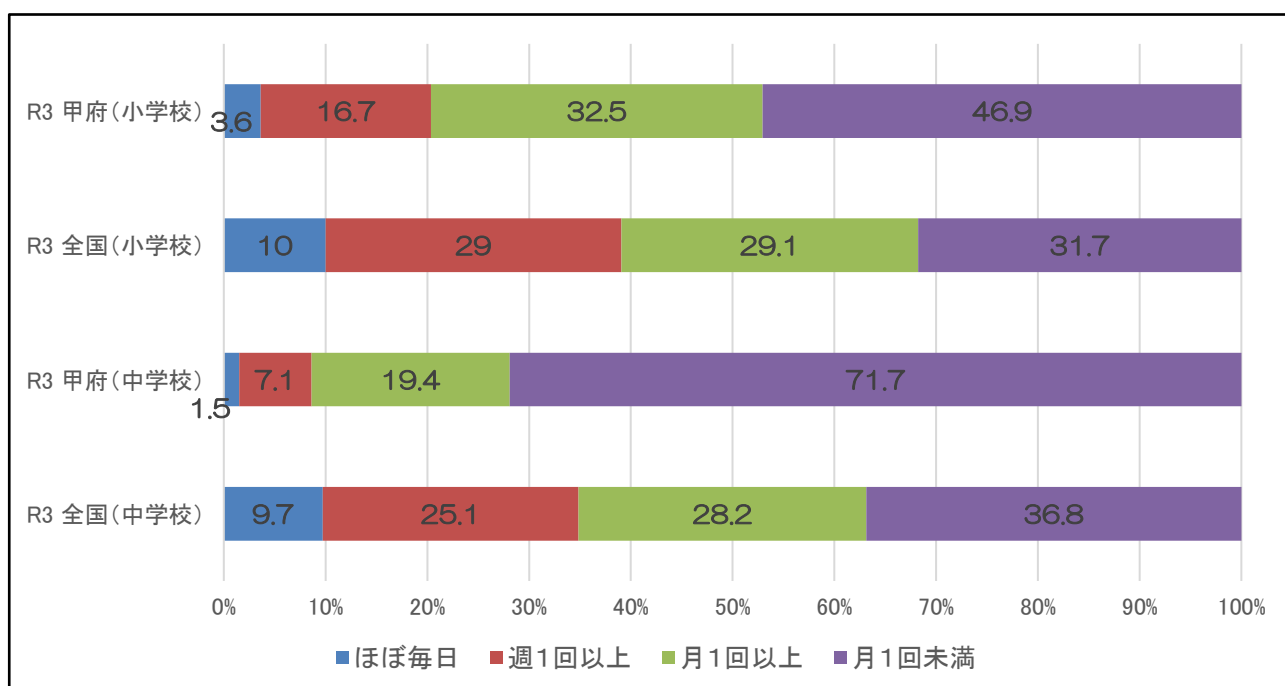


☆児童質問紙のうち、ICTに関わる資料（無回答等は除く）

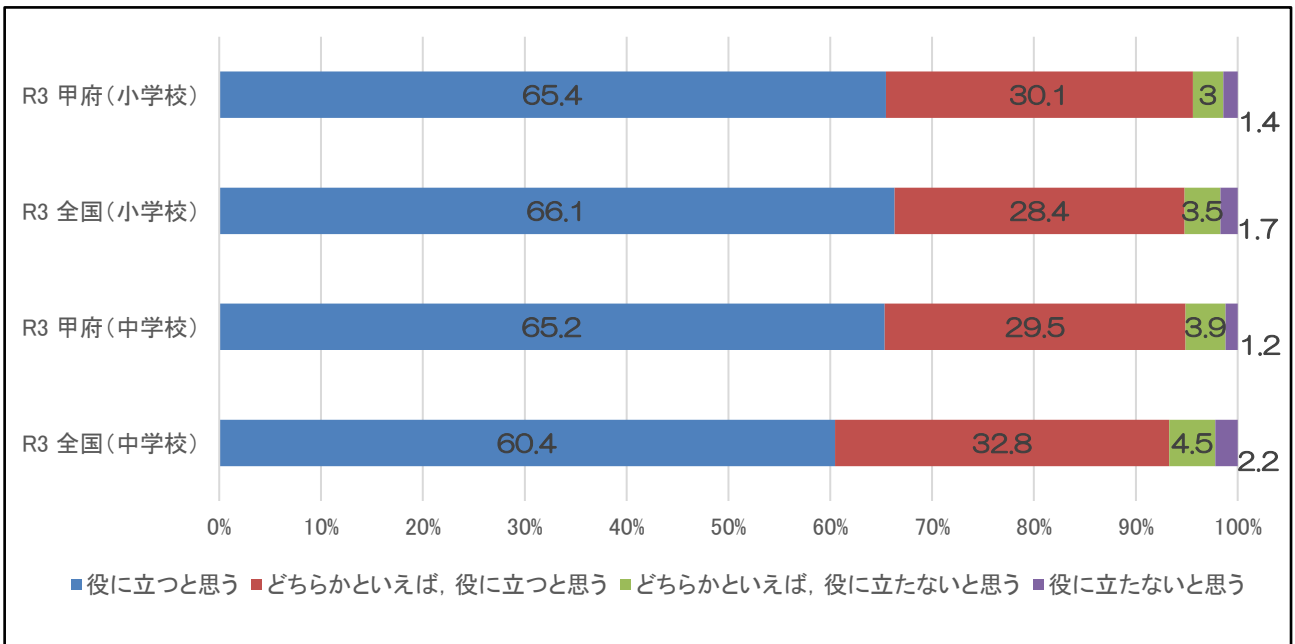
5年生（1，2年生）までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか



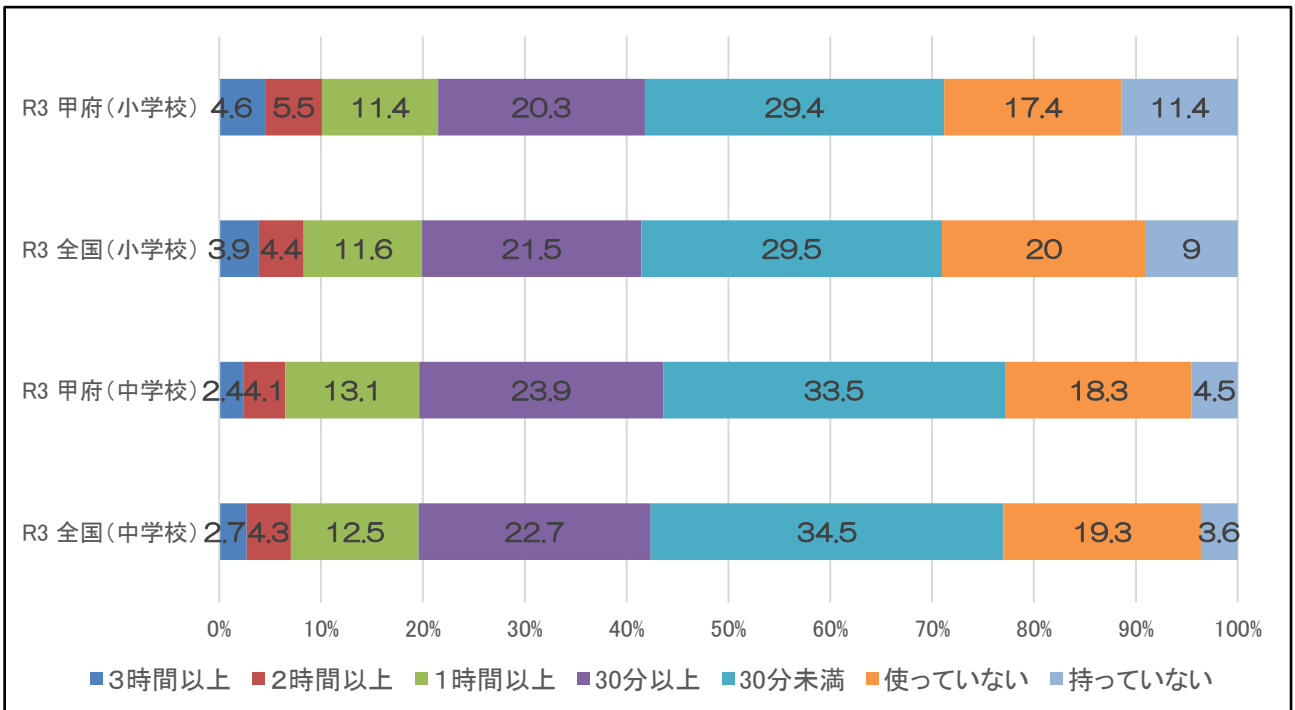
あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達（生徒）と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していましたか



学習の中でコンピュータなどの ICT 機器を使うのは勉強に役に立つと思いますか



普段(月～金), 1日当たりどれぐらいの時間, スマートフォンやコンピュータなどの ICT 機器を, 勉強のために使っていますか



## (2) 学校質問紙調査の特徴

(全国平均：全国平均との比較)

### ①家庭学習について

○家庭学習の課題の課し方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか。

〔小学校〕「よく行った」「どちらかといえば、行った」 95.8% (90.6%：+5.2)

〔中学校〕「よく行った」「どちらかといえば、行った」 91.7% (85.5%：+6.2)

○家庭学習の取組として、学校では、児童（生徒）に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか。

〔小学校〕「よく行った」「どちらかといえば、行った」 100% (95.5%：+4.5)

〔中学校〕「よく行った」「どちらかといえば、行った」 91.6% (91.9%：-0.3)

○家庭学習の取組として、学校では、児童が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童（生徒）の学習改善に生かしましたか

〔小学校〕「よく行った」「どちらかといえば、行った」 100% (89.4%：+10.6)

〔中学校〕「よく行った」「どちらかといえば、行った」 100% (85.4%：+14.6)

### ②学校としての取組体制について

○学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか。

〔小学校〕「よく取り組んでいる」「どちらかといえば、取り組んでいる」 100% (98.7%：+1.3)

〔中学校〕「よく取り組んでいる」「どちらかといえば、取り組んでいる」 100% (98.0%：+2.0)

○児童（生徒）の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか。

〔小学校〕「よくしている」「どちらかといえば、している」 95.8% (93.6%：+2.2)

〔中学校〕「よくしている」「どちらかといえば、している」 100% (92.7%：+7.3)

### ③授業について（甲府のたからと関連して）

○授業において、児童（生徒）自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

〔小学校〕「よく行った」「どちらかといえば、行った」 75.0% (87.7%：-12.7)

〔中学校〕「よく行った」「どちらかといえば、行った」 91.7% (84.5%：+7.2)

○授業の中で目標（めあて・ねらい）を児童（生徒）に示し、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか

〔小学校〕 「よく行った」「どちらかといえば、行った」 100% (98.3%：+1.7)

〔中学校〕 「よく行った」「どちらかといえば、行った」 100% (97.8%：+2.2)

#### <引用・参考資料>

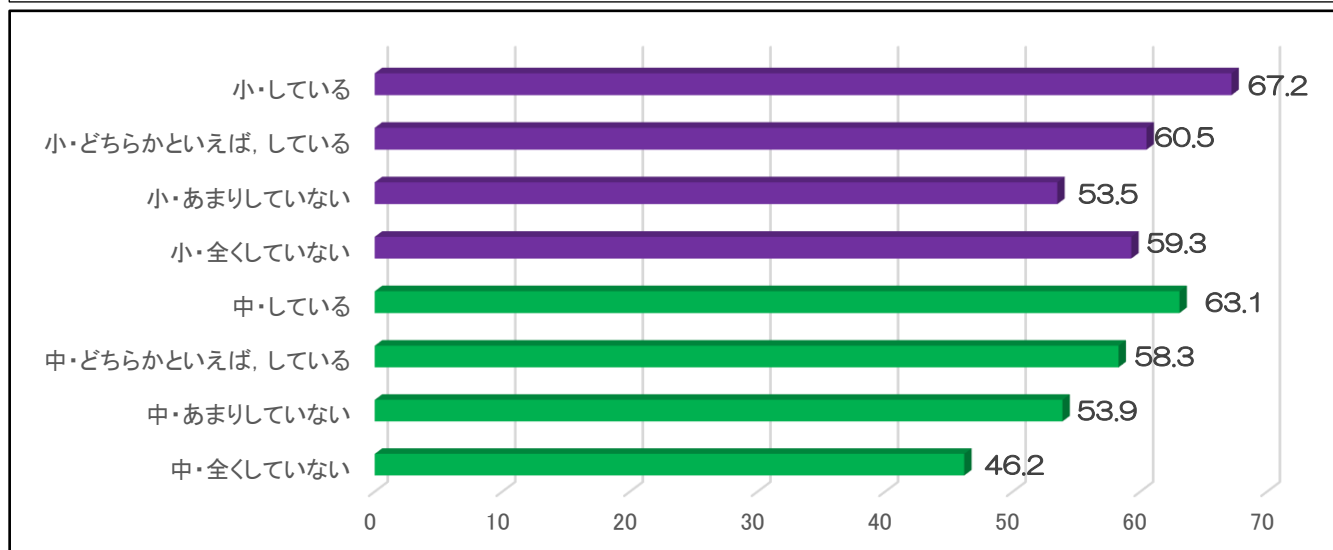
- ・「小学校学習指導要領」（文部科学省） ・「中学校学習指導要領」（文部科学省）
- ・「令和3年度全国学力・学習状況調査解説資料」（文部科学省・国立教育政策研究所）
- ・「令和3年度全国学力学習状況調査 報告書」（文部科学省・国立教育政策研究所）
- ・「平成31年度甲府市における調査結果のポイント」（甲府市教育委員会）

## 資料 1 平均正答率と質問紙調査の相関関係

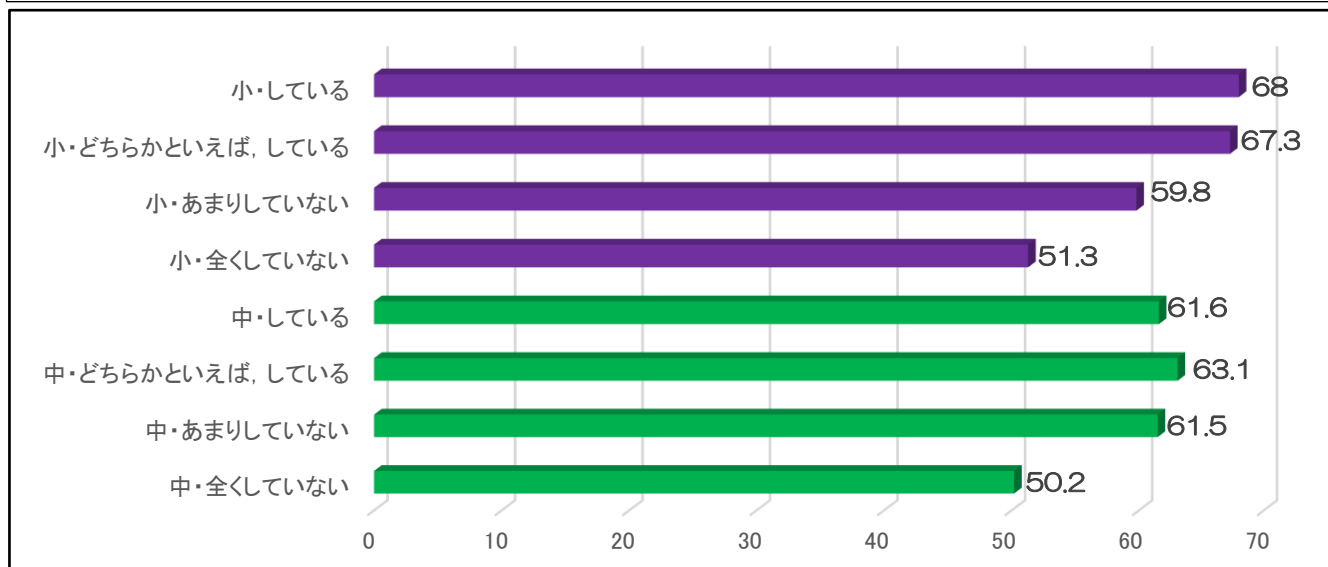
このグラフにおける「合計平均」は、平均正答率の和【国語と算数（数学）】を2でわったもの。棒グラフが長いほど、全国学力・学習状況調査の結果（平均正答率）が高い。

### <生活習慣について>

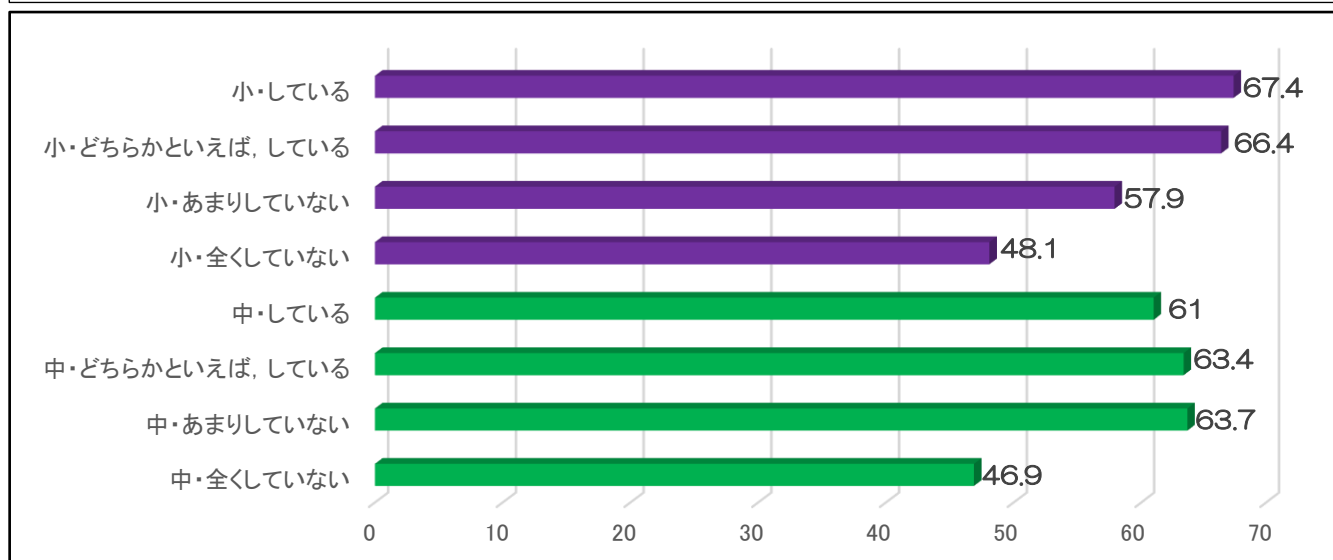
#### 朝食を毎日食べていますか



#### 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

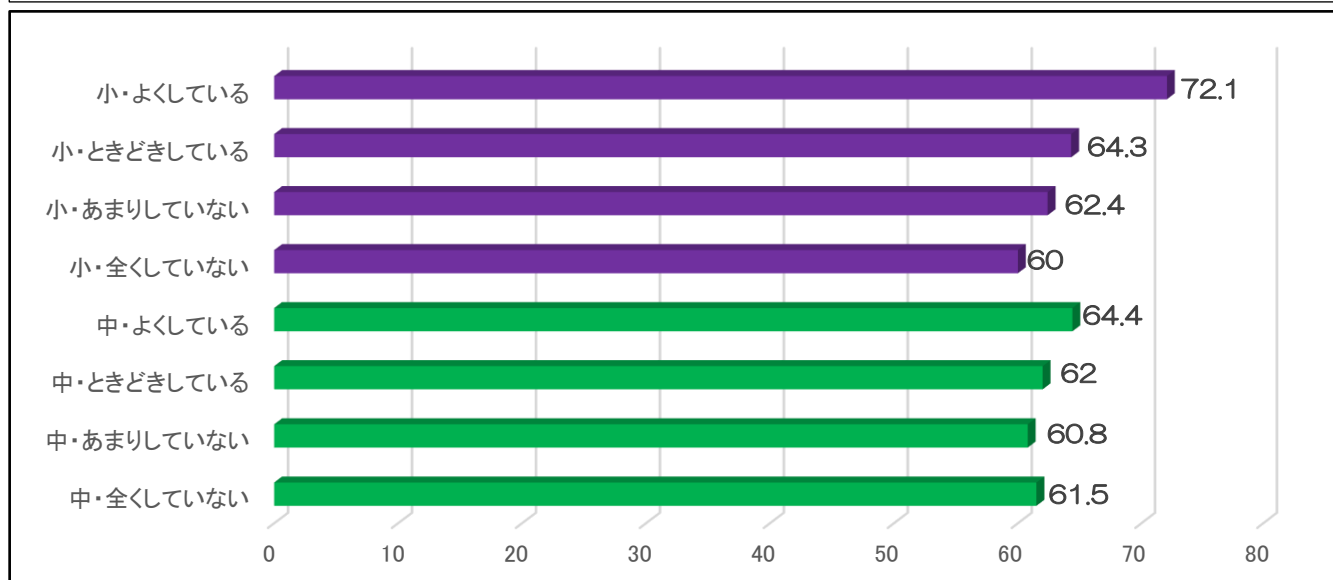


毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

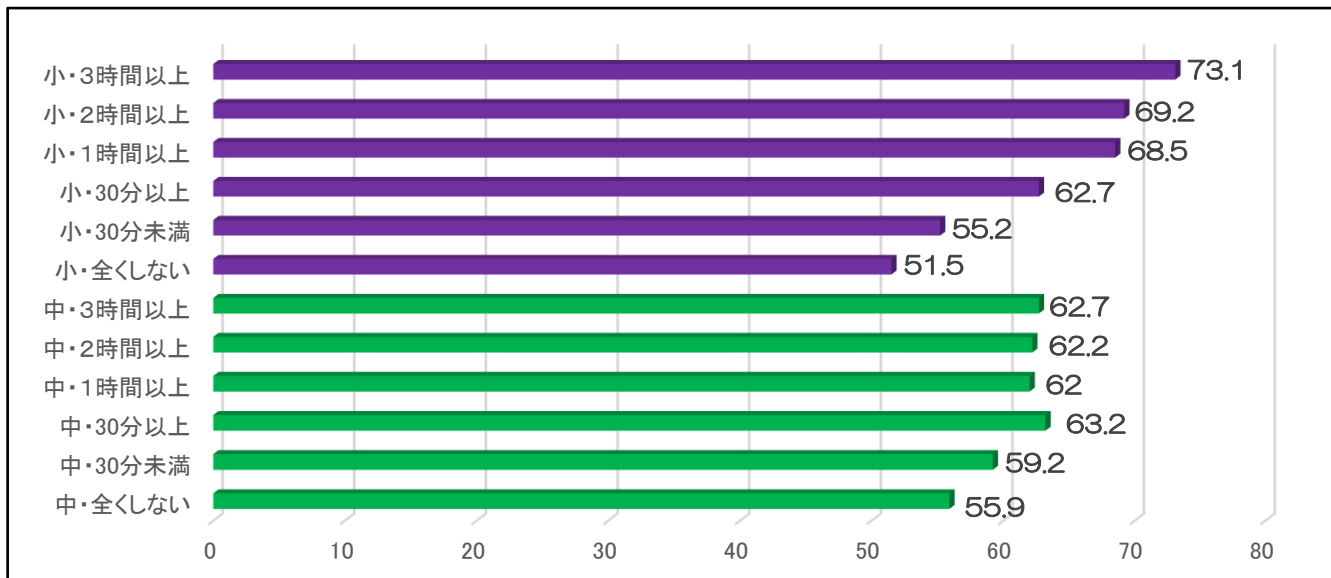


<家庭学習について>

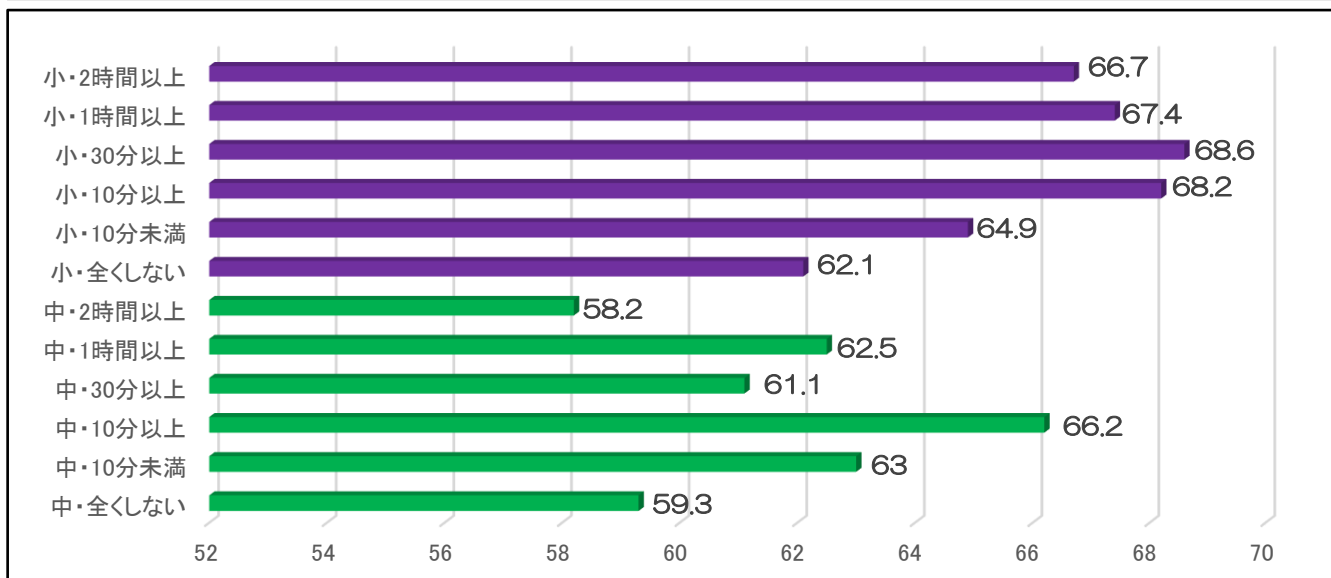
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）



学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

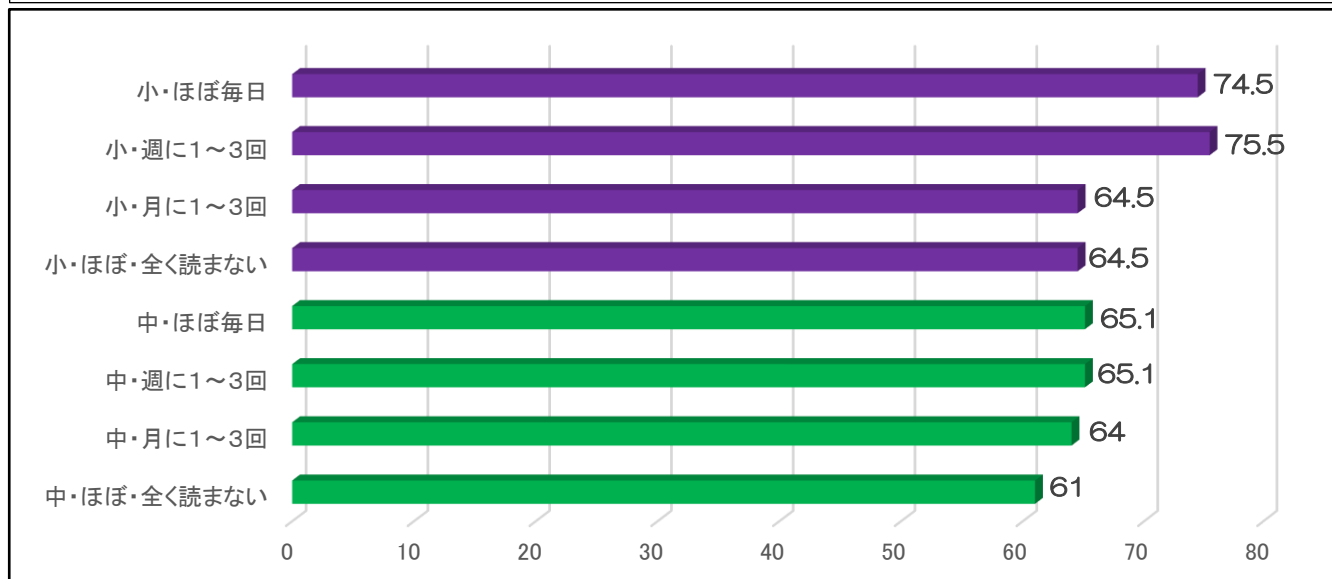


学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

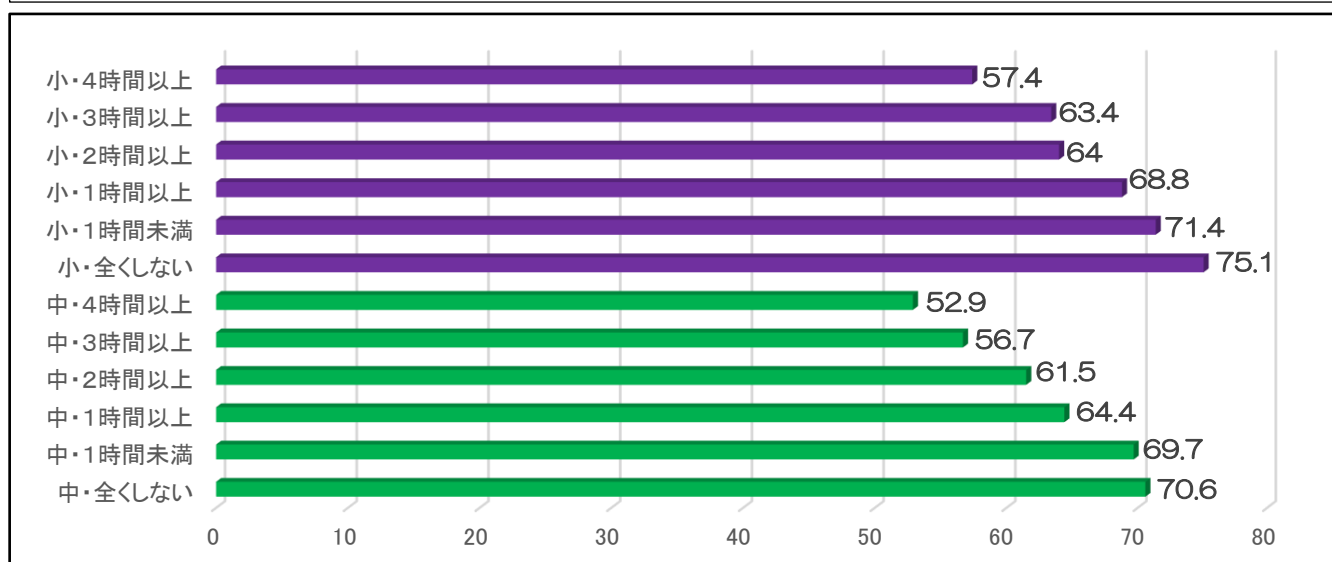




新聞を読んでいますか

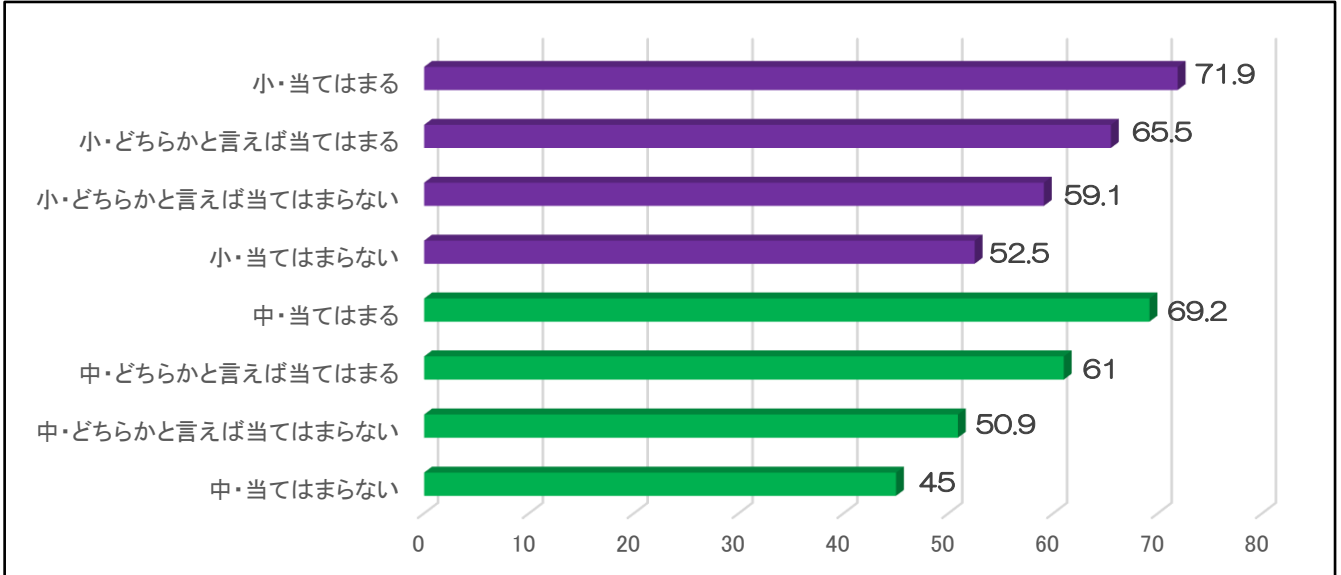


普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

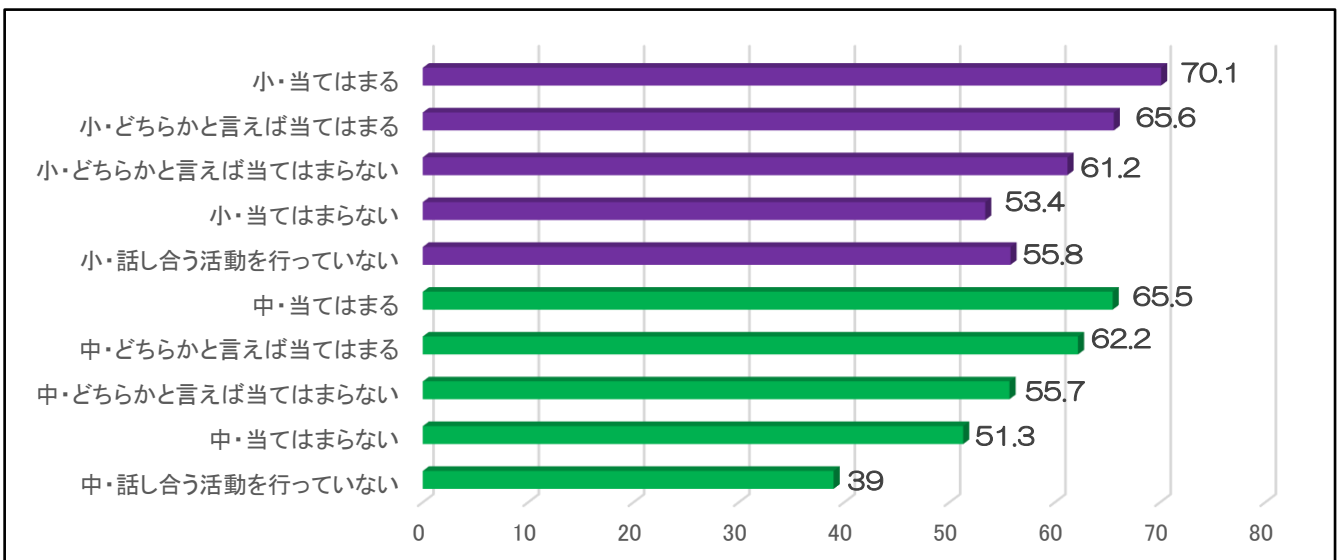


<学習の方法について>

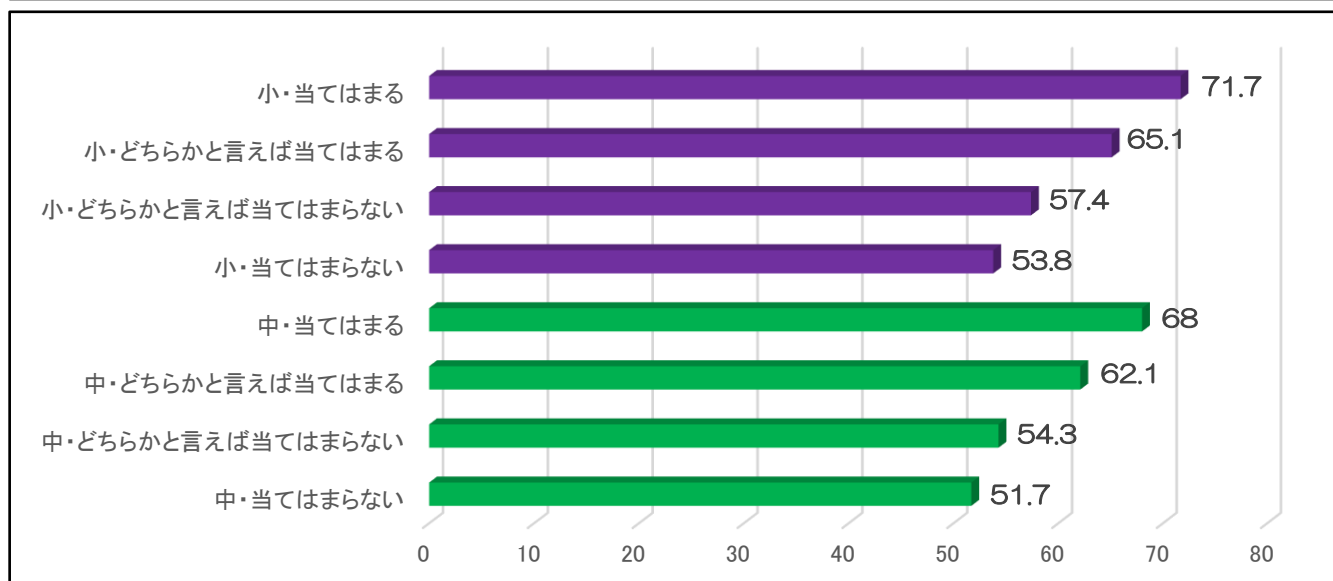
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか



学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



## 資料2 令和3年度甲府市学校教育指導重点に関わって

令和3年度全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙・学校質問紙から、甲府市学校教育指導重点との関わりについて分析した。

国・県両方を上回っている ◎ 国もしくは県を上回っている ○ 国・県両方を下回っている △

### 1 重点目標に関わる設問への回答状況

☆「思い遣る心の育成」に関わる設問の回答状況

将来の夢や目標を持っている (児童生徒質問紙 設問7)	小学校：全国・県を上回る	◎
	中学校：全国・県を上回る	◎
人が困っているときは、進んで助けていますか (児童生徒質問紙 設問10)	小学校：全国を上回る	○
	中学校：全国を上回る	○
いじめは、どんな理由があってもいけない (児童生徒質問紙 設問11)	小学校：全国を上回る	○
	中学校：全国を上回る	○
人の役に立つ人間になりたい (児童生徒質問紙 設問11)	小学校：全国・県を上回る	◎
	中学校：全国・県を上回る	◎

☆「生きる力」を育む教育の展開に関わる設問の回答状況

近隣の中学校と教育課程に関する共通の取組を実施 (学校質問紙 設問77) 【小中連携】	小学校：全国・県を上回る	◎
	中学校：全国・県を上回る	◎

「職場見学・職場体験」 (学校質問紙 設問 80) 【キャリア教育】	小学校：全国を上回る・県と同じ	◎
	中学校：全国を上回る・県と同じ	◎
児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を実施 (学校質問紙 設問 76) 【特別支援教育】	小学校：全国・県を下回る	△
	中学校：全国・県を下回る	△

## 2 重点項目に関わる設問への回答状況

### ②確かな学力の育成

#### ○「甲府スタイル」による授業改善

習得・活用・探求の学習過程を見通した授業改善 (学校質問紙 設問 36)	小学校：全国・県を下回る	△
	中学校：全国・県を上回る	◎
対話を通して、考えを広げる (児童生徒質問紙 設問 37)	小学校：全国・県を上回る	◎
	中学校：全国を上回る	○
学習をふり返り，次へつなげる (児童生徒質問紙 設問 38)	小学校：全国を上回る	○
	中学校：全国を上回る	○

#### ○読書習慣，家庭学習の確立

平日の読書時間（30分以上） (児童生徒質問紙 設問 21)	小学校：全国・県を上回る	◎
	中学校：全国・県を上回る	◎
家庭学習の課し方について，教職員での共通理解 (学校質問紙 設問 85)	小学校：全国・県を上回る	◎
	中学校：全国・県を上回る	◎

#### ○道徳教育

考え，議論する授業の工夫 (学校質問紙 設問 44)	小学校：全国・県を上回る	◎
	中学校：全国を上回る・県と同じ	◎

### ④健康・体力の向上

#### ○基本的生活習慣の確立

朝食を毎日食べる (児童生徒質問紙 設問 1)	小学校：全国を上回る	○
	中学校：全国・県を上回る	◎
毎日，同じくらいの時刻に寝る (児童生徒質問紙 設問 2)	小学校：全国を上回る	○
	中学校：全国を上回る	○
毎日，同じくらいの時刻に起きる (児童生徒質問紙 設問 3)	小学校：全国を上回る	○
	中学校：全国を上回る	○

### ⑤信頼される学校づくりの推進

#### ○家庭や地域との連携

家庭，地域の教育活動等への参加 (学校質問紙 設問 82)	小学校：全国・県を上回る	◎
	中学校：全国・県を下回る	△

# 令和3年度 甲府市学校教育指導重点

目 標	<b>甲 府 の 子 ど も の 教 育</b>
	豊かな感性とたくましい行動力を持ち、互いのよさを認め合いながら、 進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身共に健康な児童生徒の育成を目指す。

**思い遣る心とは**  
 自分を思いやる心  
 他の人を思いやる心  
 集団や社会を思いやる心  
 自然や生命を思いやる心

**重点目標**

- ・「思い遣る心」の育成
- ・「生きる力」を育む教育の展開

**「生きる力」を育む  
教育課程の編成**

**確かな学力の育成**

**「思い遣る心」を育む  
生徒指導の推進**

**健康・体力  
の向上**

**信頼される  
学校づくりの推進**

□「思い遣る心」の育成を重視し、「生きる力」を育む、保幼小及び小中連携を意識した教育課程の編成と実施に努める。

**1 「生きる力」を育む教育課程の編成と確実な実施に努める。**

- ◎新学習指導要領の趣旨を踏まえ、カリキュラム・マネジメントに基づく教育課程の編成と実施
- ・グローバル化に対応した系統的な外国語教育の推進
- ・教育課程に基づく保幼小及び小中連携の推進

**2 将来の生き方をみつめた体系的なキャリア教育の推進に努める。**

- ・各発達段階に応じた指導計画に基づく指導の充実

**3 特別な教育的支援の必要な児童生徒の教育の推進に努める。**

- ・家庭及び関係機関との連携による「個別の教育支援計画」の作成・活用

□基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、思考力、判断力、表現力を育み、主体的に学習に取り組む意欲・態度を養い、「生きる力」「思い遣る心」の育成に資する。

**1 組織的・計画的に授業改善に取り組み、確かな学力の育成に努める。**

- ◎「甲府スタイル」による「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくり
- ・基礎的・基本的な内容の確実な定着
- ・言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成
- ◎1人1台端末等のICTを効果的に活用する授業づくり
- ・学びに向かう力や人間性を育てる学習指導
- ・家庭と連携した学習習慣、読書習慣の確立

**2 自己をみつめる力と「思い遣る心」を持った道徳的実践力の育成に努める。**

- ・全教育活動を通しての一貫性のある道徳教育の推進
- ◎新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりと評価の工夫
- ・規範意識の醸成、生命を尊重する心の育成

**3 楽しく豊かな学校生活を築くための特別活動の充実に努める。**

- ・望ましい集団活動を通しての自主的実践的態度の育成

□学校いじめ防止基本方針に基づくいじめへの対応、不登校・暴力行為等への対応を最優先課題とし、愛と信頼に基づく心のふれあう人間関係をつくり、「思い遣る心」の育成に努める。

**1 校内指導体制の確立と機能強化に努める。**

- ◎共通理解と統一した指導方針に基づく組織的な生徒指導
- ・共感的で適切な児童生徒理解、教師と児童生徒との信頼関係に基づく生徒指導

**2 教育相談の充実強化に努める。**

- ・教職員とスクールカウンセラー等との連携による教育相談

**3 存在感が実感できる体験的・実践的活動の推進に努める。**

- ・公共心と「思い遣る心」を基調としたボランティア活動等

**4 家庭・地域・関係機関との連携を密にした生徒指導の推進に努める。**

- ◎児童生徒を中心に据え、家庭、地域、関係機関の役割分担に基づく協働
- ・家庭、地域と連携した情報モラル教育

**5 お互いの個性を大切にし、多様な人々と協働できる資質の育成に努める。**

- ◎一人一人の人権を尊重し、個性を認め合うことで、ともに成長していくことのできる集団づくり、心の居場所づくり

□「生きる力」の基盤である、健康・体力・安全に関する資質と能力の育成に努める。

**1 自己管理能力の育成と体力向上の基礎の育成をめざした健康・安全指導の推進に努める。**

- ・基本的生活習慣の確立
- ◎日々運動に親しむ習慣の確立と体力の向上を意識した取組の推進
- ・食育、がん教育等の健康教育の推進
- ◎感染症への正しい理解を図るための指導と、適切な感染予防対策をとる態度の育成

□「思い遣る心」「生きる力」の基盤となる家庭や地域に開かれた信頼される学校づくりの推進に努める。

**1 全教職員の共通理解に基づく指導体制の確立に努める。**

- ・学校関係者評価を含めた学校評価に基づく指導体制の一層の工夫改善、充実とその公表

**2 家庭や地域との一層の連携を図り、信頼される学校づくりに努める。**

- ・積極的な情報発信と授業の公開
- ◎保護者や地域住民が、学校の教育活動に参加する機会の充実

**3 安全管理体制の見直しと充実に努める。**

- ・安全教育の推進と実践的な訓練の実施、家庭、地域、関係機関等との連携による安全確保の徹底
- ・個人情報管理の徹底
- ◎危機管理マニュアルの改善と充実、危機発生時における迅速な対応